京城日報
七月十七日夕刊（朝刊併せて八頁）
大正八年七月十八日　THE KEIJO NIPPO　（金曜日）　第四千二百三十九號（一）
（年中無休刊）

濠洲示威運動
講和締結後形勢險惡

シドニー十六日發電＝濠洲の形勢は講和締結後次第に險惡となり勞働者の同盟罷業は漸次政治的傾向を帶び來り九日の如きシドニー市に於て濠洲獨立の一大示威運動行はれ多數の市民是れに加はり獨立の歌を高唱しつゝ市中を練り歩きたり又シドニーの重なる新聞紙は筆を揃へて英帝國との連鎖を切斷すべしと論じ人民を煽動しつゝあり（某所着＝東京特電）

維也納占領陰謀
匈牙利公使館にて文書發見

維也納來電＝新聞紙の報道に依れば匈牙利公使館に於て發見せられたる文書は匈牙利の赤衛軍が墺太利共産黨の援助の下に維也納の占領を目的とする出動計畫の全部を暴露せり之に依れば右侵入軍は騎兵砲兵を有する十三個の大隊より成り多量の彈藥及びダイナマイトも同公使館より發見せられたり（倫敦電報）

英國 對獨通商復活
封鎖解除と獨逸の活氣

聯合國は獨逸の封鎖を解除したるが英國は引續き對獨輸出政策を行ふべし而して近く獨逸に領事を派遣し通商の復活を爲すに決し商務員は留保を存して對獨通商を許可したり尚對獨封鎖解除と共に獨逸國內は遙かに活氣を呈し來れり（倫敦電報）

休戰條約成立
獨逸系墺國及南スラヴ間

獨逸系墺國及南スラヴ間に休戰條約成立し南スラヴ軍はクラーゲンフルトを退去しつゝあり（巴里電報）

不調印理由聲明

北京政府は調印拒絕に關し近く外交團に對し支那の不調印は山東問題の爲にて其他の條約に就ては何等不滿足を抱くものに非ずとの意思を聲明するに決せり（北京電報）

聯合國委員フユーメ行

英米佛伊軍艦數隻は聯合國委員を乘せフユーメに向へり（巴里電報）

佛日用品價引下
暴利を貪る者を極刑に處す

佛國にては日用品の騰貴に對し緊急引下手段を斷行するに決せり下院議員中には暴利を貪る者に對し極刑を科し買占其他暴利的行爲をなす者を死刑に處せんとの法律案を提出せし者あり（巴里電報）

張出兵は威嚇
吉林討伐令未し＝

中央政府より張巡閱使に對し吉林討伐令下附されたりと傳へらるゝも確なる方面より聞知する所に據れば未だ其事無しと尚討伐令の下附されざるにも係はらず張巡閱使の孟氏壓迫の手は更に緩められず益々部下軍隊を北上せしめつゝありされど張氏は決戰を企圖せるに非ず要は威嚇にあるものゝ如く推測さる（奉天特電）

高中將の嚇怒

十三日協議會を開きたる吉林省議會議員及城內各紳董三十餘名は孟氏に面會を求めたるも拒絶せられたるより高士賓氏に面會し孟氏引留の請願を爲したるに高氏は怒氣を含み孟氏は在任既に十餘年に及ぶも其の間何等不都合の事無く他省が內亂續出するも吉林省のみは其事無く省民の保護は完全に行屆き未だ嘗て塗炭の苦を嘗さしめたる事無し今回の事たるや孟氏の出處明かにして理路整然たり畢には孟氏を彈劾して此の紛亂の緒を爲さしめし爾等が今に於て孟氏を引留んとするは奇怪至極なり爾等の良心何處にありや」と罵倒したる末武官に命じて監禁せしめんとせしより議員等は種々辯疏嘆願の上辛ふじて退出せりと

兵士遊廓へ闖入す

十五日午後二時頃長春支那街北門外の支那遊廓へ城內宿營中の兵士の一隊來り門戶を破壞して掠奪を行はんとするより五六百の遊女は大いに恐れ城內及び附屬地に全部避難し各戶門戶を鎖して釘附となしたるが十六日其多くは奉天に向け避難し他は附屬地に移轉したり

戰時氣分橫溢

其後續々部隊の著多きを加へ十四日來哈爾賓方面より來りし者のみにても約千五六百に達し長春は之等兵士と避難民の往來にて織るが如く戰時氣分橫溢す

哈市占領企畫

黑龍軍騎兵一千、步兵千五百名は哈爾賓を占領せんと或地點迄進擊し來れりとの報傳はり哈爾賓は非常に騷擾し居れり

長春鹽務局員引揚準備

長春支那鹽務局は時局の轉移と共に緊張して約八十名の兵士護衛し居れるが局長は掠奪を怖れ同局長は貴重品其他重要書類を附屬地に移し局員に對しては一人に百元宛を與へ先づ引揚ぐべき事を申渡したるが局員は目下引揚の準備中なり

何調停使來長

十七日午前七時三十分著の列車にて北京より時局に對する調停使として何宗蓮氏等來長直ちに赴吉の筈なるが奉天東邊鎭守使馬龍潭氏も張氏の命により同行すべしと（長春特電）

吳、張衝突說

奉天の吳中將は張督軍と意見の衝突を生じ孟氏と款を通ずるに至れりとの說あり（奉天特電）

吉林代表孟歸任運動

吉林より北京に赴きたる吉林各會代表者は孟氏を一個月間留任せしめ其間に於て適當の地に轉任せしめんと運動し居れりと（長春特電）

天津 租界擴張要求

伊太利は講和會議に對し天津獨逸租界の處分に關聯し伊國租界の擴張を要求したり（倫敦電報）

間島學生騷擾

間島龍井村各商店は學生側の脅迫に依り閉鎖するも取引は繼續されつゝあり十一日督軍、省長連署にて罷業禁止の布告を發し軍隊警官をして市內秩序維持に努めしめつゝあるが學生團は十二日各隊を分ち示威運動を爲せり（東京特電）

滿鐵職制改正
社長室及び六部に分つ

十六日より施行したる滿鐵事務分掌規定は二十四條より成り社長に社長室及び總務、運輸、興業、地方、技術、經理の六部を置き部長は總務松本理事運輸中西副社長興業片山理事技術島理事經理川村理事に任命せらる社長室には人事部長川淺發行總務部に文書課（課長竹中政一）監査課（課長岡虎太郎）外事課（課長山田潤二）調査課（課長石川哲夫）を置く此外交涉及び東亞經濟調査局は總務部に屬す運輸部に庶務課營業課（課長田村羊三兼務）運轉課（課長貝瀨謙吾兼務）を置く大連管理局（局長貝瀨謙吾）京城管理局（局長久保要藏）及び大連埠頭事務所（所長異動無し）は運輸部に屬す興業部に庶務課及び販賣課（課長山口潤一兼務）を置く撫順炭坑、鞍山站製鐵所、地質調査所、電氣瓦斯作業所は興業部の管理にす（所長異動無し）地方部に庶務課（課長村田懋麿）學務課（課長守屋源太郎）衞生課（課長守屋源太郎兼務）を置く圖書館（館長多田貞一）大連病院（院長尾見薫）滿洲醫學堂、中央試驗所（所長異動無し）地方部に屬す技術部に線路課（課長加藤與之吉）建築課（課長小野木孝次郎）保線課（課長谷直亮）土木課（課長竹村謙）を置く築港事務所、沙河口工場は技術部の管理に屬す經理部に會計課、用度課を置く（課長異動無し）右決定の結果川上理事無任所となり三本武重氏は吉長鐵道代表社員として吉林に在勤横井實郎氏及び元地方課長の村井啓太郎氏は社長室勤務となり新職制の結果自然失職退社を命ぜられたるは元技術局長西脇三之助氏大連滿鐵醫院長河西健次氏圖書館長島村孝三郎氏稻垣萬氏等也（大連特電）

職制改正要點
朝鮮線の制度も改めん
中西滿鐵副社長聲明

中西滿鐵副社長は十六日午前十時本社會議室に各理事各部、課所長各次長全部を召集し新分掌事務規定に就き說明を爲したるが其の大要は今回の分掌處務規定は我新幹部が執務に都合好く制定せるものにて必ずしも前の規定の善惡を批評するの意に非ず今回の規定の主なる點は從來職務規定に依り本社にありては撫山炭坑等は直接指揮する上に不便ありたるを改正し總て中央集權の實を擧げ撫順、沙河口及中央試驗所等を全部統一して本社內部にて其事業の內容を知り指揮命令する得る樣にせり從來は課長の權限大に過ぎて聯絡取れざるの憾みありたるが新規定は此弊を一掃せり朝鮮線の京城管理局は此意味に於て甚しく規定に間隔あり近き將來に於て根本的改正の筈なり今回の職規定と同時に改正の發表を見ざりしは朝鮮總督府との交涉等あるを以て滿洲と分離したるも近く大連管理局と同樣の規定を發表すべしと尚社長室勤務を命ぜられたる横井實郎村井啓太郎兩氏は近く辭職し又無任所となれる川上理事も亦四鄭問題の一段落と共に退社に決定せり（大連特電）

伏見宮御歸東

十五日下關山陽ホテルに御一泊相成りたる伏見中將宮殿下には十六日午前御渡門八幡製鐵所其の他を巡視遊ばされたる上午後御歸關同七時十分發列車にて御歸東相成りたり（下關特電）

國勢院設置
兩局併合

政府は今回內閣統計局と軍需局とを併合し國勢院を設置するに決し既に之を樞密院に提出せるが何れ特別委員會に附議さるべしと（東京特電）

日本銀行帳尻

十五日の日本銀行帳尻は左の如く兌換券前週に比し收縮せり（東京特電）

發行高	九四四、一〇〇
保證準備	七一一、七〇〇
限外發行	一一二、三〇〇
貸出	四一二、二〇〇

兩銀行合併
資本二百萬圓

安東銀行は現在の資本金五十萬圓を二百萬圓に增資決定せるは既報の如くなるが更に種々交涉中なりし長春銀行と合併の議整ひ資本金三十五萬圓の長春銀行の代表者間に於ても亦合併の調印終れり尙は安東銀行は今期の定時總會に引續き臨時總會を開き增資を確定し長春銀行も亦百萬圓增資の形式を執り兩行合して三百萬圓となす事となれり本店は安東に置き長春銀行本店は支店となる可し尙同行は公主嶺に支店范家屯に出張所あり愈々兩行の增資決行は九月に至る可しと（安東特電）

守備派遣隊通過

臨時朝鮮守備派遣隊將校以下二十二名は十七日朝入港の博愛丸にて來釜十一時京釜鮮滿直通列車にて北行せり（釜山特電）

福田參謀次長

久しく西伯利北滿方面視察中なりし福田參謀次長一行一名は十六日朝長春より來奉府に宿泊陽清市旅順に向け出發したるが廿日朝再び來奉京城に向ふべしと（奉天特電）

福井縣と北朝鮮
廣部福井縣會副議長談

此程敦賀を發し北鮮各地の經濟狀況を視察して入城せる北鮮視察團長福井縣會副議長廣部德藏氏は語りて曰く昨年日本海

橫斷航路開始され又將來吉會線平元線の敷設せらるれば福井縣と北鮮との關係は益々密接となるべく從つて其貿易狀況及び福井縣產物の北鮮地方に於ける販路擴張の必要を感じ今回來鮮したる次第なり日本海橫斷航路も現在の敦賀元山城津淸津間の航路を更に浦鹽に延長して完全なる三角航路を作りたきものなり夫には先づ敦賀港の突堤の改築上屋の增設をなし同港より移出する諸雜貨の數量の增加を計る必要あらん福井縣より見て北鮮地方に於て最も容易にして發展の見込あるは漁業なり北鮮沿岸の魚類も福井縣沿岸の魚類も其種類大體に於て相似たるものあり從つて

其漁撈方法も同樣に漁網の如きも同一のものを使用し得るなり、又地理上の關係より漁夫の如きも移民又は出稼するに便なり次に北鮮に於る農業は同じ開拓するにしても彼の北海道の未墾地開拓とは自ら其の性質を異にし相當の資本を要するを以て吾が縣人の資力あるものが之に投資するは別問題なるも所謂移民として左程資力なきもの、來るには如何あらんかと思考さる點あり要するに農業に對しては尚多くの研究の餘地を殘すものと云ふべきならん現在福井縣下にて使用の大豆粕は多くは一度大連安東縣より神戶に輸入されたるものが更に敦賀に集まり縣下に散出さるゝなり之は將來直接敦賀に移入さるゝ樣になしたきものなり、福井の羽二重は朝鮮輸出の大宗たる羽二重は殆ごなきが如く將來は第一著手に

外國輸出の不合格品が朝鮮に移出して漸次其販路を開拓し又一方朝鮮の生活向上を待つも一策ならん福井縣人の北鮮地方に移住せるもの比較的多數にて淸津の如き吾等一行の同地來訪を期して縣人會の設立を見だり各地に於て當路官憲及び民間の有志により視察上種々の便宜を與へられたるは一行の深く感謝する所なり今後も縣下の實業家を派遣して實際を視察せしめ縣に於て其費用の一部を補助する如き便法を執る考へなり

朝鮮上半貿易（三）
二億二千六百二十六萬餘圓
總督府關稅課長 矢鍋永三郎氏談

…良の九十三萬餘圓等共に著增を告げたるのみならず就中製絲工場の勃興に伴ふ生絲の

三十萬餘圓、兼二浦製鐵所の事業開始に基づく銑鐵四十八萬餘圓の增進を示せるは注目に値し之に反し小麥は內地麥粉の輸出制限に因る製粉界の不況により六十五萬餘圓棉花は前年の作柄不良に基き二十三萬餘圓牛皮は生絲市場の反撥として二十四萬餘圓生牛は今春一時流行せし蹄口疫の影響を受け四十六萬圓を減退し其他重石鑛七十七萬餘圓黑鉛三十四萬餘圓含金粗銅六十三萬餘圓銅塊及錠百萬餘圓の減退を告げしは休戰後鑛業界の不振に基づく當然の結果なりとす

輸移入重要品　輸移入にありては米、紙類、鐵釘等に少許の減退を見たるの外各品何れも增進を示し就中

被服材料品は地方經濟力膨脹の爲め需要增進を告げしを以て綿絲百六十一萬餘圓生金巾類五百九十一萬餘圓晒金巾類二百二十五萬餘圓木綿二百十四萬餘圓支那麻布四十三萬餘圓の激增を始め綿類綿縮巾類、天竺布等亦增進を示し食料品に於ては米價暴騰の爲代用品需要の喚起に因り粟五百五十一萬餘圓小麥粉五十九萬餘圓を增加し食鹽は漁業界の殷盛と前年に於ける鮮內生產の減退砂糖は需品の旺盛と四月以降消費稅賦課に基づく見越移入に因り各六十萬圓內外を增進し其他客秋來

在荷缺乏の餘波を受け石油四百九十二萬餘圓米穀移出の盛況に依る叺及び繩の四十七萬餘圓農業の改善に伴ふ肥料の九十四萬餘圓等何れも著しき增進を告げたるのみならず引續き事業材料品の輸移入も盛況を呈し鑄鐵器械百十八萬餘圓石類八十三萬餘圓古鐵類八十二萬餘圓軌條及び附屬品四十二萬餘圓の增加額を計上せり（完）

醫師試驗施行

朝鮮に於ける醫師試驗は同規則第一條に依り來る十月六日より京城醫學專門學校に於て施行の旨十八日附告示を以て發布さるべきが受驗者は九月十日までに同規則第七條の願書附屬書類及び寫眞を警務總監部に提出すべし今回の試驗は特に朝鮮文、朝鮮語を以て受驗することを得べしと

藥劑師試驗施行

朝鮮に於ける藥劑師試驗は同規則第一條により來る十月二十日より京城醫學專門學校內に於て施行さるべし受驗者は九月三十日迄に同規則第四條の願書附屬書類及び寫眞を警務總監部に提出すべき旨十八日告示を以て發布さるべし

蠶繭出廻狀況

朝鮮全道に於ける蠶繭の出廻りは一般に騷擾事件の餘波を受けたると生絲相場の變動餘りに甚だしき爲め商人の買入れ手控への爲め昨年に比して少く昨年七月には一萬七千百六十九個釜山經由內地に輸出されたるに拘らず本年は七月一日より十五日迄僅に五千九百七十四個に過ぎず本月上旬中釜山より輸出數量最も多かりしは十二日の七百二十個にして次は十一日の六百六十個なるも十五日に至りては俄然二百七十二個に減少したり、今後增加の見込みなるも到底昨年の如き好況は得がたかるべしと

高普校長打合會

高等普通學校長打合會は前日に引續き十七日午前九時より總督府第一會議室に於て開會し關屋學務局長を始め各課長關係者列席事務上の打合を爲したりと

師團檢閱段落

淨法寺師團長の第二十師團管下諸隊の隨時檢閱は此程より實施中なりしが十七日工兵隊の檢閱を以て一先づ終了する事となれり平壤部隊の檢閱は多分來月となるべしと

聯合會成績

京畿道金融組合聯合會は設立以來豫期以上の好成績を擧げつゝあるが七月十五日現在の營業狀況を聞くに政府借入金十萬圓殖銀借入金十四萬七千五百圓、特別借入金十六萬五千圓、預り金四萬五百圓、定期償還貸附金二十一萬一千百五十圓、年賦償還貸附金九萬四千五百圓、當座貸越金四千圓短期貸附金七萬五千四百圓也と

京城金融組合

京城府にては十七日午前十時より府廳樓上會議室に於て京城內地人側金融組合創立に關する相談會を開催せり

東洋物產認可

京城府南大門通り一丁目金潤冕、同金潤秀、同二丁目金得珠、鍾路三丁目金東俊氏外五名の出願に係る東洋物產株式會社設立の件は十六日附許可されたるが同社は資本金二百萬圓を以て內外物產の輸移出入貿易及び委託賣買を營む目的とするものなり

大正起業支店

山口縣玖珂郡に本店を有する大正起業株式會社（資本金五十萬圓）が忠淸南道大田に支店を設置するの件は豫て出願中の所七月十五日付許可の指令ありたり同支店は本店同樣土地建物の所有賣買及び賃貸借其他の業務を營むものなりと

京城製絲新事業

京城東大門外所在京城製絲株式會社は從來絹絲の製造及び其販賣を營み來れるが今回蠶繭の賣買其他の附帶事業を經營すべく出願中の所七月十五日附許可ありたり

東拓青島支店長

新設の東拓青島支店長は總督府判事を辭して監査課長に就任せし針貝金次郎氏赴任の事に決定し支店は十二日より開店せりと（東京特電）

鑛業會講話會

朝鮮鑛業會にては十八日午後四時より朝鮮銀行地金課長榊原芳樹氏を聘し金問題に關する講話會を開き終りて茶話會開催の筈

人事消息

▲安藤又三郎氏（京管運輸課長）義州に出張の處十八日歸社の筈
▲江森一等主計（第二十師團司令部附）十七日夜發新義州へ
▲秋田鑛山專門學校職員二名生徒二十六名　十七日發黃州兼二浦に向ひ十八日三陵鑛を見學すべしと
▲久保田積藏氏（鮮銀哈爾賓支店長）來城中なるが兩三日中に歸哈
▲武井宗十郎氏（平北古河鑛業所長）十七日朝入城京城ホテルへ

八面鋒

◆列國委員調印を了て各本國に引揚げし後支那獨り騷ぐ蠢哉
◆國際聯盟より離るの勇氣も無く獨立の自信も無く嘆息のみ荒し
◆調印拒絕を喜ぶかと思へば其實外國の顏色を窺ひ間を狙ひ
◆テレ隱しに山東問題を聯盟會議に提出すと騷ぐ蠢哉
◆調印もせずに國際聯盟を利用し得ると思ふ處が即支那式乎
◆更に日支條約を一切破棄する爲擧國一致すべしと騷ぐ愚在
◆國際條約を自分勝手に破棄せしは獨逸也獨の暗懲は今終る
◆支那は獨逸を模倣とするか若し然らば支那は自滅するのみ
◆即國際的危險思想者は勿論國際聯盟の公敵たり此自覺在否
◆青島還附は既に我公言せし處也大和武士に二言無しと知ずや
◆今に至て英米佛の保障を求むるなど失敬千萬也疑心も甚矣
◆調印せざる支那は對獨戰爭にあり山東の還附は我勝手なり
◆還附を希望せば文句を並べず速に調印せよ然ば實行されん
◆北京政府追調印論あるも米派反對すと纏遼聚ゆ夢見る徒
◆追調印か否か吾等の關する處に非ず雨か風か四百餘州暗澹
◆正米の釣上りは何處迄行くか天井不知價以て手の付け樣なし
◆こは云へ此際上司の雲煙過眼視する勿れ放任は市民の敵也
◆思惑買占に注告せよ更に一歩を進めて米穀收用令を布く可く思ひ切たる事は遠慮し居るも
◆中產階級は所謂勞働者の如く其裏面の生活難は勞働者よりも甚しきものあり大に同情要
◆今に愈々やり切れ無くなり哭ると共に恥も外聞も忘るか不知
◆其時には最早遲し其之を未然に防ぐ今日に若は無敢て言ふ

皮より強い理想的の
專賣 柳織トランク
◎其他旅行用具一切
◎魔法瓶及中瓶取替
京城本町 電話貳五四番 吉村行李用具店

京城日報社編纂
最新 書式大全
菊版クロース頒美本九百頁◎定價金圓郵稅二十七錢
本書は最新の朝鮮書式大全にして各種關係法令に依り、民事、商事、刑事、交通、通信、財政、產業、特許、商標、實用新案、恩給年金、警察、學事の十部に分類し各々關係法規を摘錄し一切の書式を網羅して餘さず各階級を通じて必携缺ぐ可からざる良書なり
發行所 京城太平通 京城日報社代理部 振替京城三百番
取次販賣所 大阪屋 巖松堂 日韓書房

暑い！ 連日の暑さには
芝浦 旋風機 着荷 特價販賣
京城長谷川町 電話一貳貳一番 振替京城六八貳一
電機商 合資會社 ヒオキ商會

氣が利いて上品な中元の贈答品には品質優秀の宇治本場の銘茶が
一番宜しからうと存じます どこの御家庭でも重寶でキツト御喜びになります

御銘茶定價表（七月一日改正）
◎御濃茶薄茶（十匁値段）：千代の松 金壹圓參拾錢／松の光 金八拾錢／姥の昔 金五拾錢／司白 金四拾錢／宇文字 金參拾錢／大祝 金貳拾錢　但し挽立分十匁に付二錢申受け候
◎玉露（百目値段）：金拾參圓／金拾圓／金八圓／金五圓／金四圓／金參圓／金貳圓／金壹圓五拾錢／金壹圓參拾錢（銘：松の榮、松の旭、碧園、[illegible]）
◎煎茶（百目値段）：老松 金壹圓參拾錢／金九拾錢／金八拾錢／金七拾錢／金六拾錢／金五拾錢（銘：松鶴、宇治の華、知樂、[illegible]、仙龍、相生）
◎粉物及煎屑（百目値段）：金壹圓五拾錢／金壹圓三拾錢／金六拾錢／金五拾錢／金四拾錢／金參拾錢（銘：松の友、財の友、[illegible]）
◎鉄力錻詰木箱入及ボール函入等は容器代實費申受け候

弊園は品質本位を以て良品御送附仕候に付送料は別に申受候
弊園は百目單位ですから百六十一斤の半斤より貳割のお徳用となります
但濃、薄茶は拾匁値段です
山城宇治木幡
登錄商標 分 松北園茶店

芳醇 ナイアガラ ウヰスキー
米國ナイアガラ醸造會社（元詰）
輸入元 釜山大倉町 ミトヤ商店

戰利獨艇を觀る(三)
罪の深い零二號艇(下)
一分間以内で樂に潜水　一年に十七隻を撃沈す

搭載兵器 としては先づ六門の水雷發射管がある水雷は十九吋半のものである、それから四、一吋砲が一門あつて是れは潜航の時ミ雖も其儘格納の裝置は要しないのであるアンシユルツ式のヂヤイロコンパス即ちルワ式の羅針器ミ磁氣コンパスこが各一個宛あつて其獨樂式の方のは一分間に一萬二千の回轉をなすのである二個の

潜望鏡は 即ち操縱室より見るものが一個であつて航空機に對して用ふる爲に天空を見る事が出來る樣になつてゐる一は司令塔より見るものであつて共に電動機によつて迅速に隱現し得るものである而して旋回せしむるのは人力によるが倍、一倍半、六倍ミ容易に意の如く定むる事が出來る其他舵機等も浮舵ミ沈舵ミが二通りあり

水上交通 の舵が一通りある是等も總て電力に依るものであつて猶ほ潜航するに際しては司令塔の蓋は自由に閉鎖し各バラストタンクの注水弁を開き又空氣逃出口の弁を開く樣になつてゐるそこで熟練したならば潜航に要する時間は一分以内だこいふ事である其の他の裝置に就ては各艇ミ同樣である該艇の

乘組員は 士官が五名で准士官三名下士卒三十三名で都合四十餘名であるが獨逸は僅に三十餘名で是れを操縱してゐたのである該艇を本邦に回航するに就ては甚だ困難を感じた先づ三月十一日に英國のポーツマウスを發して同月二十七日に地中海のマルタ島に著いたがそれから四月十三日再び

マルタを 發してより途中ポートセッド、アデン、コロンボ、ペンナ、シンガポール、馬公等に寄港して燃料飲料水等を補ひそれから六月の十七日に横須賀に著いたが英國を出發してより本邦に著く迄には實に凡そ百日を要したのである此の總航程は一萬二千浬であつて機械の具合がよくない爲めに自力で通航する事の

危險を慮 り最初より大事をこつて馬公迄曳船をなしたが其間約七千三百浬曳船こして破天荒の記錄である此艇の戰歷は素より我々には不明ではあるが近間の戰亂中には主こして英國南西附近海面に活動してゐたものであるそして大正六年の二月より七年の五月に至る迄の間に此艇の爲めに撃ち沈められたものは汽船が十五隻ミ帆船が二隻で都合

五萬餘噸 に及んでゐる其中に於て大正六年の七月十九日に愛蘭南西方にて我商船をも一隻撃沈したミいふ事である此の艇の一回の出動日數は約二十五日であるが途中に於て一回も補給を受けたミいふ形跡は認むる事が出來ない相である(東京支局)

板垣伯の幼時
母堂は類無き賢夫人
故伯の面目躍如たる逸話の數々

板垣伯は三四年以前から耳が悪くなつて此頃では殆ご聞ねなくなつて居たから

老後の思出 に師いて居た社會改良會に對しても思ふ樣に出來なかつたらしい處が伯の歷史は我維新當時から明治初年にかけての政治史を彩るもので殊に我立憲政治史の初葉は殆ご伯の獨擅場の觀がある換言せば伯は當時の革命者であつた伯の革命はルーソーから出て居るが而も伯が

佛國革命の 如き慘を演出せなかつたのは伯がロベスピーヤやダントンやマラーの樣な大膽不敵の考を持たなかつたからである伯の政治革命の中心は勤王の燃ゆるが如き精神に漲つて居たのだから日本の明治政界の革命は實に理想に近い革命であつた其大事業を完成した伯もあつた從つて其歷史中には

後輩に教訓 を與へるものも多いロイドジョーヂが靴屋の小倅から出世したよりもノスケが居酒屋の小倅から出世したよりもより以上立派な歷史を持つて居る伯が斯る大人物になつたのはもこより其血統にも依るが母堂の教育が與つて大に力ある事は爭はれないのである

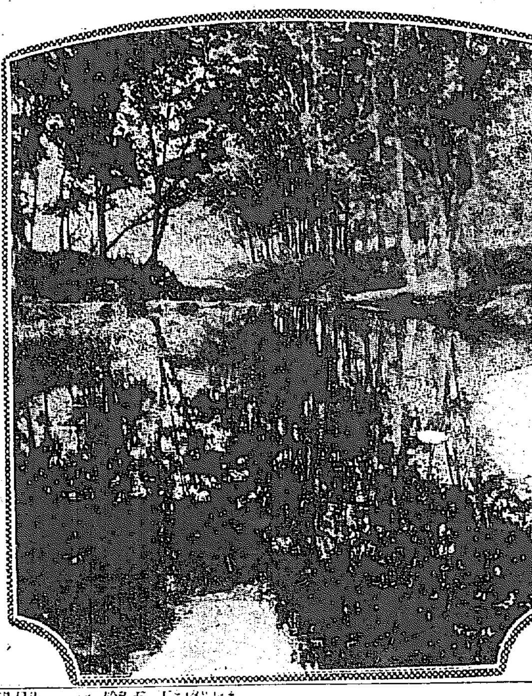
伯の生母は 高知藩の家老格であつて後中老格に下つたが其位地頗る高かつた林勝重氏の女で賢婦こ云ふよりも寧ろ烈婦の方であつた從つて伯も幼時から磊落不羈の氣に富み或冬の朝門前に一人の女の乞食の居るのを見て忽ち惻隱の情禁じ難く宅に歸つて無斷で姉さんの

外出の美服 をソツさ取り出して乞食に與へて知らぬ顏をして居た姉さんが之を知つて大いに立腹して散々伯に怨みを云つた伯は平氣で一枚の著物のでせうこ云ふのを聞いた母堂は姉さんの言上けを聞かず却つて伯の心根を大いに褒めたのであつた又或時高知の隣の潮江

村の天滿宮 の祭禮に角力を見に行つた伯は幼少の時から角力が何よりも好きであつた處が行つて見るこ自分の坐すべき棧敷がなかつたのを憤り早速歸つて來て母堂に訴へたるこ母堂は宜敷こ即刻人夫をやつて廣い棧敷を作つて男の意氣は幼い時でも挫いてはいかぬこ激勵した事もあつた又一日の事非常に

雷が鳴つた 隣に雷きらいの人が居たので伯は面白がつて雷が鳴るこ共に石を其屋根に投げて其れ雷が落ちたこ散々脅かしたり又は伯母に當たる人が非常に雷を恐れゴロゴロ鳴り出すこすぐ蚊帳の内にもぐり込むのであつた伯は何時も雷が鳴るこ幼に算盤を持て緣に出でゴロゴロ云はせては

伯母を恐れ させたものだ母堂は何時も此の有樣を見て微笑しつゝ男の獨り子の幼は之れ位の事を仕てもよいこ云つて少しも干渉せなかつたのであつた此母堂にして此の伯あり母堂の賢伯が豪宕の資性をして益々其の美を濟たさしめたのである


凉しき池畔　(清凉里にて)

板垣伯の遺言書
襲爵を願ひ出でざる事

故板垣伯の遺言書發表されたるが其の大要左の如し(東京特電)
一、生前の主張を貫徹する趣旨に依り襲爵を願ひ出でざる事
二、是男鉾太郎は病身に付き孫守正に相續せしむる事
三、守正成長するまで宮内省よりの御下賜金其多系圖等は親類に於て保管する事

賞狀交附式
京城染織界の名譽
昨日府廳で擧行

京都博覽會協會及び京都美術品協會の聯合主催に係る全國染織工藝博覽會は去る四月一日より五月三十一日迄二箇月間京都に於いて開催され京都府よりの照會により

朝鮮より も染織工藝品多數の出品を見たるが中にも京城府内各佳者よりの出品は總數三十一點中審査の結果金賞牌二、銀賞牌三、銅賞牌三、褒狀二、即ち合計十點の入賞者を出したるを以て京城府廳にては十六日午前十時より府尹室に於て賞狀交附式を擧行し受賞者一同出席の上

金谷府尹 より一々賞品を交付したる後府尹は『京城府よりの出品三十一點中十點迄も入賞し且つ金銀牌五個を授與さるゝに至つたのは獨り受賞者の名譽たるに止まらず我が京城府の名譽である是れ當業者の刻苦精勵の結晶に外ならざれば將來も亦大いに勉勵し今回の名譽を傷けざるのみならず更により上の名譽を贏ち得る樣に努められたし』こ

祝辭を述 べ受賞者一同喜色滿面で退出した出品物並に受領者氏名左の如し

賞品	出品物	受賞者
金牌	銀羅	恩賜授産京城機業場
同	官紗竹ロ	齋藤製絲社
銀牌	灰羨腕木	親水洞李昌林
同	生絲	恩賜授産京城製絲場
同	ドロンウオーク	笠原商店出張店
銅牌	色緞地	中林洞權興煥
同	紬緞地	長沙洞金奭熙
同	灰瓦斯緞	貫鐵洞張寳鉉
褒狀	絹三八	長沙洞金奭熙
同	綠緞地	中林洞權興煥

間島鮮人悔悟
擧つて國旗を掲揚し　平和克復を祝す

十七日某所に達したる情報に依れば間島龍井方面の鮮人は其の後日韓併合の眞意を諒解したるもの如く漸く鎭靜に加はれるものは何れも其輕擧妄動を悔悟し一般に平穩に歸せり殊に去る一日平和克復記念當日の如きは内地人の國旗掲揚に倣ひ在留鮮人擧つて國旗を掲揚し祝意を表したるが從來排日派こ目さるる者まで我が大祭日には國旗掲揚せざりしに徴しても其の態度一變したるを窺知するに足るべし

住宅拂底の程度
人口の増加か住宅其物の減少か
内地程切迫して居らぬこ當局者は語る

過般本社が提唱した都市に於ける住宅問題は單り京城のみに止まらず東京大阪を始め其他の都市こ云ふ都市が一齊に其研究さ解決こを叫んでゐる其

解決法の一 こして内務省より道廳各府縣に對し住宅改良公設市場其他社會政策的施設に對する低利資金を融通する旨の通達があつた聞く處に依るこ始め六百萬圓を本年度の融通資金こして大藏省預金部で引受け明年度からは更に融通金額を増大する由である朝鮮に於ては京城は勿論平壤其他各都市道廳所在地等も住宅拂底で住むに家なしこ云ふ窮境にあるのは既報の如くであるから當局者が

如何な意見 を有して居るかに就いて總督府澤田第一課長を叩くこ『京城其他で住宅拂底が問題こなつて居るのは如何かに就ては研究を要するこ思ふ、即ち都市集注都會膨脹の傾向が益顯著になつた結果住宅が拂底するであらうか、京城の狀態などを見るこ數字が示す

人口の増加 は左程でもないが南大門驛改築其他銀行會社の新築等が住宅に禍して住宅を取毀した結果かこも見られるので朝鮮こしては内務省がやつたやうな住宅資金云々こ云ふ程に差迫つては居ないやうに思ふ、此問題に對する研究は十分してゐるが未だ總督府内ではそんな計畫はない過日京畿道廳から府民の住宅に關して話があつたから充分調査の上で申請したら地方費か何かで

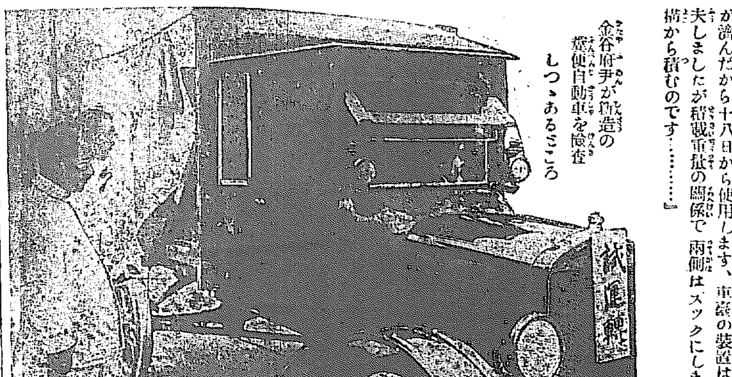
多少の支出 は出來るやうになるであらうこ云つて居た』轉じて府廳に金谷府尹を訪ふこ府尹曰く『其件に關しては住宅が現在拂底してゐる現狀は見聞してゐる社會問題こして研究は續けてゐるが今之に對する對應策如何は明言が出來ない』こ

傳染病減少
油斷は大敵

減切り暑くなつて衞生に注意するやうになつたせいか府内に於ける傳染病發生數は非常に減退した京城府の越川衞生主任は語る『此間中は六十名以上も收容して多忙を極めた順化院も十六日は僅に十八名の患者が收容してあるだけである過般大連に發生したコレラもまだ患者が一人だけで其病毒が散發したやうにも思へぬので朝鮮こしてはコレラに對する特別な豫防策は講じてゐない然し病氣は油斷大敵だから油斷をせずに注意して欲しい』猶市内の開業中の病院其他の一般に傳染病患者は尠ない相である。

兩子爵服罪
十七日確定

去る十一日京城地方法院に於て保安法違反の廉により懲役二年(三年間刑の執行猶豫)の判決言渡しを受けたる子爵金允植及び同一年六箇月(同)子爵李容植の兩氏は何れも控訴期間内に上訴の申立を爲さず愈々十七日裁判確定こ共に服罪する事こなれり



金谷府尹が改造の糞便自動車を檢査しつゝあるところ

糞便自動車の試運轉

京城府廳の新しい試みである糞便運搬の自動車が愈々出來上つたので十七日午前試運轉を行ひ警務總監部の檢査を受けた自動車は運轉手臺を金網張りにして蠅を避ける裝置や車臺の總てが鐵力こ板こで洗滌の出來る點など可成適當に考案されてゐる積載量は馬車二臺分であるが快速力を利用するから馬車八九臺分の運搬は樂だこの事である越川衞生主任は語る『愈々檢査が濟んだから十八日から使用します、車臺の裝置は種々工夫しましたが積載量の關係で兩側はズックにしました構から積むのです……』

罪は何方に有る?
鍾路の椿事後報
被害者は二人共線路を横切つたと云ふ說

十六日夜鍾路三丁目團成社附近に於て東大門發百二十三號電車が鮮童二名を轢き一名を即死せしめ一名に重傷を負はせたる處是を見たる群集は

大に激昂 し同電車に投石の上車を顚覆したる事は既報の如く鍾路署にては右の椿事突發するや直に被害者を附近の醫院に擔ぎ込み應急手當を施す一方運轉手松山洞百二十八番地金龍漢車掌金容男を引致し且地方法院檢事の出張を乞ひ

徹宵取調 べをなした

申譯なし
島田京電支配人の曰く

鮮童轢殺に就て島田京電支配人は語る『何れの過失にしても誠に氣の毒な事で被害者に對し何ども申譯が無く何れが悪いかに就いては目下取調べ中であるから不明であるが會社こしては被害者に對し相當慰藉の途を講じて悔に弔意及び見舞の意を表する心算です』

岐阜縣の大火
延燒二千戸に達す

岐阜縣八幡町にては二里を離れし河合村より飛火して延燒二千戸に及び淒慘を極む(東京電話)

憲兵酌婦を射殺す
合意の心中か

十五日午前九時公主嶺憲兵分隊勤務上等兵花村貢(二三)は同地料理店公主館酌婦松本おのわ(二〇)を短銃にて射殺し自己も亦自殺を遂げたるが多分合意の情死ならんこ(長春特電)

鰻釣、人を釣る
何故殺して呉れぬこ投身者怒る

京畿道始興郡北面本洞金泰弘(四〇)は十六日朝漢江人道橋下流に舟を浮べて鰻を釣りゐたるが上流より着衣の儘溺死者の漂流し來るに驚き鰻釣る手を止めて救助し直ちに應急手當を行ひ一命を取り止めたる處男は息吹き返すなり四邊を眺め突然金に向ひ『折角死にかけてゐたのに何故助けた』こ食つてかゝり手のつけられぬに惱き身柄を龍山憲兵分隊に引渡したるが右は龍山西部町一丁目百二番地吳戌中こ呼ぶ男にて悲觀の結果人道橋より投身を圖りたるものこ判明懇々說諭の上姉吳姓女に引渡せり

中學生溺死
教師の目を盜んで水泳中

平壤中學校第三學年生飯塚貞雄(一五)は十六日午後放課後同僚の寄宿生(三年生三名外二年生數名)こ共に大同江(税關出張所下附近)にて水泳中突然心臟痲痺を起して死亡したり、急報に接し同校長以下各職員馳付け水泳教師は直ちに水中に飛入りて同人を引揚出張の醫師こ共に應急手當を加へたるも遂に蘇生せず學校よりは直ちに在京城の父兄に死亡の趣き打電したり因に同校にては豫て生徒の自由水泳を許さず例年教師附添ひ水泳練習を爲す事こなり居り本年も近く全生徒一齊に水泳練習を開始する計畫なりしに死者及び同伴生徒は子供心に教師の目を忍びて水泳に赴き此始末を仕出かしたるものなりこ

連絡船缺航
明朝の内地便不著

十七日夜釜山著の筈なりし關釜連絡船壹岐丸は機關部に故障を生じ缺航せし爲め十八日朝京城著の内地便は不著の由

飛んだ見物

仁川京町青物市場杉本辰二郎方雇人宗良

生れ平民林楢石(二五)は十六日京城見物の爲め來り午後六時頃明治町電車通にて價格二十五圓の自轉車を横領龍山元町一丁目に於ける通行人に賣附むこする處を龍山憲兵分隊の手に逮捕さる

在鄕軍人評議會

京城在鄕軍人分會にては十六日午後八時より銀行集會所にて評議會を開催したるが出席者は片桐分會長、春山、林、川津、大島、保井、小澤、大和、日下部、植松の各評議員にて補缺理事に石井吉郎氏監事に馬場周三氏を互選し本年度豫算案を可決二三箇月間實行の上不可能の時は更に豫算の更正を行ふ事こし十時散會せり

書畫入札會

本社代理部にては十九、二十兩日午前九時より同部樓上に於て京仁名士の秘藏に係る今古名家の書畫を陳列し入札會を開催する筈なるが右は十九日下見二十日午後五時開札すべし因に新品の主なるもの左の如し

▲橋本雅邦　山水▲竹内栖鳳　竹
▲田近竹邨　山水▲姫島竹外　苔
翁▲平井楳仙　山水▲池田松園
美人▲平田松堂　小品▲深田直
城　花鳥▲村田香谷　岩に菊▲保
田菜堂　山水▲加藤紫山　山水▲
横山大觀　雨中▲木島櫻谷　寒郊
▲郁島竹外　金魚▲山田耕雲　▲武
に芙蓉▲尾竹竹坡　黒綺美人▲
部白鳳　花鳥▲中川和堂　花卉十
二枚▲小猿雪堂　ホタル▲伊藤深
水　花鳥▲益田柳外　山水　其他
今古百數十點

木石畫會

木石畫會にては來る二十日(日曜)午前九時より午後二時まで本町二丁目梅屋の家に於て會員の作品を陳列し一般の觀覽に供すべきに依り成るべく多數の來觀を希望すこ

◎鍾路小學校同窓會　鍾路小學校に於ては十九日晴雨に拘はらず午後一時より同校女子卒業生同窓會を開く由會員は奮つて參會すべく出席者は十八日午後一時迄に同校へ其旨申込み置くべしさ

浄瑠璃

▲紋糸さ能糸の和解問題に就ては有力な調停者があるらしいが組太夫は旅行中其他の關係もあつて未だ手打ちの日取りは決定せぬらしい▲何うして有力な調停者が現はれたかさ云ふさ協松會が解散したのは朝鮮ホテルで催された木の葉會が禍さなつた所からこの會に關係した人々が紋糸や三造の立場を氣の毒に思つて和解問題を持ち出したのださの話▲協松會の解散問題も世間の評判ほご揉め合つた譯では無いらしいが屋根から小石の轉げ落ちたのを隕石が飛んで來たやうに吹聽する世の中だから何うも困るテ▲師匠側の云ひ分も幹事側の云ひ分も根を洗つて見れば小兒の喧嘩さ變りは無い、そこが浄瑠璃天狗で思ふ存分に喧き出して終へば腹の底に蟠りは殘るまい

演藝案内

喜樂館 本町一丁目 有樂 電話五九七番
當る七月十一日より引續特別興行
○米國ヴ社大曲藝 ○實寫 其他
大阪毎日新聞連載講談 陷穽 全五巻
第二回 水戸黄門漫遊記
○○○○ 大特作 水戸黄門漫遊記 全五巻

壽館 本町二丁目 電一〇五〇
七月十七日午後六時より開演
大阪娘義太夫竹本彌榮子一行
▲御祝儀寶の入船 竹本入登
▲時雨の紙治 竹本廣勇
▲廿四孝十種香 竹本源之助
▲古手屋八郎兵衛 竹本龍光
▲安達原三段目
▲日蓮記勸進帳
▲大功記十段目
▲伊勢音頭油屋十八切 竹本彌榮子

大正館 黄金町 電話八七三
十八日より特別大興行
○實寫『東京市休戰祝賀會の實況』
○活劇『ニコ〜浦鯨船』全二巻
◎新派悲劇『七眞珠』
日活新派『日本銀次』四巻

浪花館 京城明治町 電話二六〇
當る七月七日午後六時より開演 納涼興行諸藝大會
▲落語 笑福亭笑太郎 ▲輕口笑話 社中 ▲落語音曲 橘家六三 ▲西洋奇術 松旭齋天坊 ▲落語音曲 笑福亭松三 ▲浪花節 橘家平 ▲落語 桂春助 ▲娘義太夫 竹之門 ▲相撲甚句 豐竹 ▲落語劍舞 桂技三郎 ▲餘興茶番劇 樂屋連中

金剛山平康間自働車開始
金剛山ハ世界唯一ノ絶勝地トシテ東洋ハ勿論[illegible]交通ノ不便ナル[illegible]今回京元線平康驛ヨリ金剛山迄自働車運轉ヲ致シ候間探勝セントスル[illegible]
京元線平康驛前 北鮮自働車商會 主 朴寳

一、大麥參千貫目
右來ル七月十九日午前十一時入札ヲ執行ス希望者ハ當府門前ノ掲示ヲ見ラレヨ
京城府

一、下水改修工事材料(木材)
右來ル七月二十二日午前十一時入札ヲ執行ス希望者ハ當府門前ノ掲示ヲ見ラレヨ
京城府

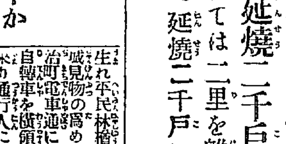
解雇廣告
店員 時松三良
右者從來弊店員こして使用致居候處今般不都合の儀有之解雇仕候に付今後弊店とは一切關係無之候條此段謹告候也
平壤旭町 丁子屋洋服店

オキシパンサー
治病範圍 [illegible]
▲横濱出張所に御注意
定價金參拾九圓
酒本高明商店

結核專門 古賀病院 九州線田代驛より四里

從來合名の處今回一手に引受け事業擴張し販賣に從事致候間多少に拘はらず御用命の程奉仰候
柳下駄各種 並に薄板製造
朝鮮黄金町三丁目 稲永商會

名刺 京城長谷川町 中田曾成社


運搬用 三輪車 フライヤ号自轉車
大阪市東區久寶寺町松屋町西入 目賀田自轉車店

自動車
運轉手技師販賣員こなりて收入大なり甲種運轉手養成二箇月卒業其他技師科設計科及夜校外生募集外に無線電信科製圖科校則郵送
東京自動車學校 東京市京橋區
大阪自動車學校 大阪市西區
福岡自動車講習所 福岡市中島町

第五版

京義道檢穀 六月中に於る

六月中に於ける京義道管內米穀大豆檢査數量は輸移出玄米三萬八千二百九十一叺中白米百六十七叺大豆六萬五千五百二十一叺なるが之を各檢査所別に擧ぐれば其の成績左の如し

輸移出玄米

總數三千八百九十一叺中特等合格米百二十六叺一等二百三十五叺二等二千百八十九叺三等二萬七千三百十五叺不合格八千四百二十六叺あり此の不合格の原因たるべきものとして最も多きは包裝不良三千七百四十六叺夾雜物多量二千五百六叺容量不足一千八百二十五叺蝦米百五十二叺品質乾燥不充分百九十七叺等の比例を示せり今各檢査所別に列記すれば左の如し

	總數	(特)	(一)	(二)	(三)	(不合)
仁川	九九八二	…	…	一五三六	八〇五五	一〇〇
南大門	一三六八四	…	…	三〇九	一〇八五三	三六八九
水原	一九四六	…	一四四	三三三	八六五	一五〇一
烏山	一九九八	一六	八〇	一三三	一一六六	二九七
平澤	八〇六	…	…	…	五六七	二三九
合計	三八二九一	一二六	二三五	二一八九	二七三一五	八四二六

以上生產地の主なるものは水原郡一萬八百六十四叺高陽郡一萬四千八百八十叺振威郡八千四百十叺安城郡二千二百七十叺忠清南道八百二十八叺龍仁郡四百三十八叺黃海道三百十一叺其他にして仕向け地は大阪一萬二百八十九叺大連七千六百六十三叺東京一千三百叺唐津三千三百六十一叺釜山四千三百卅二叺等なり

中白米

は總數僅に百六十七叺にして三等合格百二十三叺不合格四十四叺檢査所は仁川一叺不合格にして生產地は忠清南道百二十三叺水原郡四十四叺用向き地は大阪百二十三叺なり

大豆

總數六萬五千五百二十一叺中特等合格六十五叺一等一千二百二十四叺二等五千五百四十七叺三等五萬五千九百五十七叺不合格二千九百九叺なるが不合格品の原因として見るべきものに乾燥不充分八百七十六叺容量不足八百十九叺包裝不良七百十四叺夾雜物多量四百五十五叺其他あり各檢査所別左の如し

(左表の外西氷庫六十五叺あり)

	總數	(一)	(二)	(三)	(不合)
仁川	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
南大門	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
水原	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
烏山	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
平澤	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
西氷庫	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
汶山	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
高浪津	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
東豆川	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
漣川	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
合計	[illegible]	一二五四	五五四七	五五九五七	二九〇九

以上生產地別を示せば左の如し

忠清南道(二二〇六一)江原道(一四〇二九)長湍郡(六二九〇)水原郡(五三四六)黃海道(六三一一)漣川郡(四三一八)高陽郡(二五七〇)楊州郡(一三八七)抱川郡(一五四)五)小城郡(九五三)

他にして仕向け地は左の如し

大阪(一一八五六)下關(三三〇九)釜山(五〇二八)東京(五一一三)門司(一〇九八)尾の道(八八八)沼津(四一〇)汐留(四一二〇)名古屋(三…

對支貿易振興と總稅務司制度(三)

野波關東都督府囑託(寄)

▲北京ガゼツトの要論 我外務省の要求拒絕

最近我が安東及奉天の兩商業會議所は安東及山海關兩海關長を日本人たらしむべく外務省に陳情せり外務省は直ちに之れを駐支公使に移牒し公然總稅務司に交渉せしむるところありしやに聞く總稅務司は言を左右に託して此當然の要求をすら全然拒絕し、當時北京ガゼツトの之れに關して論評を試みしは必ずしも總稅務司の意を受けたりと推斷する能はざれども少くとも本問題に對する英人側の意見を代表するものと見て大過なかるべし曰く『日本政府が安東及び山海(營口)の海關長を日本人たらしむるべく要求せる基本理由は全く貿易額の多額なるに存す吾等の目を以てすれば貿易額の多額なるだけそれ丈他外國人を海關長たらしむるを要す此意味に於いて露支貿易額の最も多き哈爾賓海關長に佛國人を任命しあるは當然の處置なり』と。此意を推窮すれば日本貿易額の多き海關に日本人を長たらしむるに於いては必ずや不正の行はるべしと云ふにありて言裡明かに我國を侮辱せるものあり若し其に貿易額の多きこと反つて他外國人を以て海關長たらしむるの至當なりとせば上海は如何九江は如何更に潮海粤海九龍は如何是等英支貿易の盛んなる開港場で英人海關長を用ゐざるを『當然の處置とす』べきこそ豈哈爾賓に異ならんや

哈爾賓に新設の建物會社

資本金二百萬圓(馬鹿々々しき方外な家賃)

哈爾賓市の人口は昨年來非常に增加せし爲家屋の拂底を來し殊に商業區たる埠頭區に於て最も甚だしき缺乏を見、其結果家賃の如き普通カントラ用たる煉瓦造にて一露坪當十三四圓見當を唱へ而も六ヶ月若しくは一ヶ年前金徴せらるゝ始末なりたるが本年初頭以來我邦人の入市するもの夥しく現今にては約六十人を算するに至れるも行の如き家屋缺乏の爲め家屋難を訴へざるものは皆無の有樣となり、之れにては折角の發展を阻害する恐ありとし日本人の爲め相當の地區を選びて大規模の下に事務所及び住宅を建築し以て此苦難を緩和せんとの議起り過般來協議を重ねつゝありしが目下の緊急事たるより佐藤總領事初め多數の贊成者ありたるも諸種の事情は大規模の計畫は到底急速實現するを難きより止むを得ず資本金二百萬圓を以て哈爾賓土地建物社を組織し差當り第一回拂込金五十萬圓借入金二十萬圓計七十萬圓を以て大、中、小三種の住宅を建築することに略決定し目下株式募集中の由なるが發起人の希望によれば家賃さへ一露坪八圓(市價より三割安)以下とし尚同社成立の上は有力なる後援者あるを以て原價償還法により希望者の爲めに家屋を建築し在留者永住の一助たらしむべしと云ふ(哈爾賓)

京城日報經濟部長 別府西海著 特價一圓送料八錢

財界の新人舊人

四六版三百廿頁……總クロース美本

京城財界の代表的人物七十餘家の評論

行文流暢所論公正銷夏の好讀物

發行所 京城日報社代理部 電話長六〇〇九番 振替京城三〇〇番

取次販賣所 大阪屋號書店 ウツボ屋 日韓書房

有望なる罐詰業

(囑目せる內地實業家)

最近大津商業會議所よりの依頼を受け慶尚南道勸業係に於て調査せる慶北東海岸迎日慶州各郡の大正七年十二月末現在株式會社淡盛商會外七にて製造せる罐詰數量及び價格左の如し

鮑三千二百三十八函(四打入)價格九萬六千三百三十三圓、蟹二千八百三十四函價格四萬三千二百六十圓、鯖四千三百九十六箱價格四萬一千六百六十四圓、鰈五百三十箱價格一萬一千四百五十四圓、鰯四百二十五箱價格一萬一千八百二十三圓、價格計十八萬一千八百四十七圓にして十人當二萬二千七百二十圓の賣揚げをなせ示せり

若し此所に相當の資本を投じ迎日郡附近を根據とし罐詰業に從事せむか鑛の豐富に於ても相當の成績を上げ得るは敢て難事にあらざるべしと

柳行李の原料(豊山)

咸鏡北道豊山郡內に產する杞柳は同地特產として年產額約百一萬三千貫に達し將來手工材料として有望のものなるが之が製造に就ては甚だ振はず郡內にて毎年約千五百貫を消費するに止まり大部分は他道に移出する狀況なるを以て今回杞柳細工奬勵の爲め郡內に製造講習會を開催して技術の普及を圖らんとし目下技術者の選定其他諸般の準備中なり

海林の森林(哈爾賓)

拓殖會社の後援せる東支鐵道沿線海林の森林は頗る有望の大事業なるが何分輸送難の爲めに大規模の下に經營する能はざるの苦境にあるが現在京奉鐵道より枕木二百車の註文を引受け其他の註文も續到せりと聞く最近滿鐵東清鐵道間に貨車配給に關する協定成りたる由なれば同林木の輸送も幾分緩和せらるゝに到るべし

名產の煎子(鎭海)

鎭海水產會社市場に於ける六月中の煎子賣買高は一萬八千二百十一圓の巨額に達したるが目下相場稍下押しなるも猶日々一千五百袋の入荷ありと其相場は如左

肥料用七圓五十錢、かゑり(上)二十二圓內外(下)十四圓內外、ちりめん(上)廿三圓內外(下)十二圓內外、中羽(上)十九圓內外(下)十四圓內外、小羽(上)二十一圓內外(下)十五圓內外

釜山に無線電信所の設置

目下審議中

大森理學博士は地震觀測其他時刻統一の必要上釜山に無線電信を設置したき希望を有し總督府に設置方を勸めたる由にて若し總督府にて設置することゝなれば高さ百五十尺の受信柱建設費を支出すれば足るここにて機械は同博士より貸與すべしと(釜山)

煙草界(哈爾賓)

哈爾賓地方の煙草界は昨今大需要期に際して販路行き殊に活況を呈し英米トラスト及び南洋兄弟公司並びに中法煙公司等を主とし東亞煙草に對抗せんと活動中にあり市場には東亞、南洋、英米中法の順に品揃ひを見つゝあり

酒造米(潭陽)

全羅南道潭陽郡に於ける農事改良は他郡方に比し比較的早くより着手せられしを以て目下顯著なる成績を擧げ居れり尚此の地方米は品質に於て最も酒造に適し居れり

盗んだ店へ 贓品を賣に行く

愛知縣生れの平松友助(三七)は元山に流れ込み鮮人宿に止宿中同仲町一丁目岡野商店倉庫に忍び入り牛皮二枚袋十三枚を窃取し近所に住む李某を欺き自分の所有せる牛皮なりと詐はり何處かへ賣つて來て呉れと頼みし處滑稽にも李某は前記岡野商店へ持行きたるより目標のある皮とて忽ち發覺し李某の口より友助の居所も判明せしにぞ直ちに取押へらる(元山)

魚の腐る哈爾賓

(冷藏庫內でも腐る)

哈爾賓の旅館公司は僅家族の魚海岸と稱せられ居る生魚商なるが昨今天候酷熱を加ふるより冷藏庫內の貯魚にて腐敗するものありて一日に五百留の氷塊を使用して尚且つ千留以上の腐敗魚を出しつゝありと(哈爾賓)

東西南北

▽△新政の記念に某鐘▽△ 群山の月明山錦江寺にては新政記念の祚福供養を七月末執行すべく當日は天童行列其の他信徒の種々なる催しありと

▽△支拂期日一定施行▽△ 群山商業會議所にて小賣商間の支拂期日一定は會員組織にて好成績なるより光州商工會にても近く之れを實行する由

▽△金よりも體刑▽△ 居住規則違犯にて罰金十圓に處せられし大田の支那人周嘉生(三)外十七名は罰金が高過ぎるとて拘留に換刑を願出づ

▽△朝鮮の熊に殺さる▽△ 佐賀縣杵島郡朝日村黑尾溝上源太郎(五)の劇場より買求めし熊は先頃檻を開きし時溝上に喰付き遂に喰殺せりといふ

三寒四温

▲いかな筏の鑑賞…… 安東縣で八月一日から催す日本全國木材商大會の席上に餘興として名物の筏節を聽かせるのにつき東縣の有志は其の歌詞を懸賞で募集した結果一等に當選したのは左の如くである

鴨綠江、水に流れは二百餘里、す我は五千石、安東縣よい處

四季の眺めも鴨江中

是が一等で懸賞金十五圓である、ちつとも旨くはないが、其次の二等(十圓)も三等(五圓)も何れ劣らぬドン栗の脊ッくらべである、尤も佳作(二圓)の中にコンなのもあつた

くろがれも、はがれも、さがす夏の日に、こゝは涼しき浪の上、色は黑くも櫂もてば、良ちや又筏の色男

鴨綠江まがりくて二百餘里激しき水に流されて、著いた役は新義州、向ふに見ゆるは安東富士

左記の方法に依り古今名家傑作書畫百餘點入札即賣可致候條納涼旁々奮て御來觀被下度願上候

古今名家書畫陳列入札會

時日 七月十九日 下見 七月二十日 入札 同日午後五時開札

場所 代理部樓上

京城日報社代理部 電話長六〇〇九番

商況

株式

東京現株 至急電報

銘柄	拂込	▲印下落 十七日中値
鮮銀	四〇、〇〇	▲二〇五、〇〇
同新	三〇、〇〇	一五四、〇〇
京電	五〇、〇〇	六二、〇〇
東拓	三五、〇〇	△九一、〇〇
同新	一〇、〇〇	△五一、〇〇
殖銀	二〇、〇〇	▲六〇、〇〇

東京株式 至急電報

銘柄	十七日前場大引	前日比較
東株	三二五、七〇	三、〇〇安
同新	三一一、五〇	一、九〇高
滿鐵	一五七、〇〇	一、五〇高
同新	一五〇、〇〇	一、〇〇高
二新	一二五、〇〇	一、一〇高

大阪株式 至急電報

銘柄	十七日前場寄付	十六日後引比較
大株	三九八、〇〇	一、〇〇高
同新	三二四、〇〇	七、〇〇安
日郵	二八〇、〇〇	一〇、〇〇高
同新	二五五、〇〇	九、〇〇安
商船	一八三、〇〇	二、〇〇安
同新	一三三、〇〇	七、〇〇安
鐘紡	一七八、九〇	六、〇〇高
同新	一五八、〇〇	七、〇〇安
東紡	一八一、〇〇	六、〇〇安
東株	一六八、〇〇	一、〇〇高
正米	一五〇、九〇	一、〇〇安

京城現株 保合値段

銘柄	拂込	▲印下落 買	賣
仁取	[illegible]	[illegible]	[illegible]
朝郵	[illegible]	[illegible]	[illegible]
朝鐵	[illegible]	[illegible]	[illegible]
皮革	[illegible]	[illegible]	[illegible]
朝紡	[illegible]	[illegible]	[illegible]
朝綿	[illegible]	[illegible]	[illegible]
鮮煙	[illegible]	[illegible]	[illegible]
朝信	[illegible]	[illegible]	[illegible]
仁倉	[illegible]	[illegible]	[illegible]

仁取株の研究 何故保合ふか

多大の興味を以て迎へられた手數料値上後の仁川取引所の賣買高は連日三十餘萬石を云ふ、大阪を凌いで萬前途之の成績である、これでは取引所一日の收入は六千圓を超へ純益五千圓に上るであらう此の調子を續くれば一年に百六十萬圓位の收益を擧げ得る勘定である、然しさうは問屋で卸さず昨今のやうな好勢は異例であらう然し乍ら其の半分イヤ三分の一の商賣を續くるやうな計算になるのだが其の株價に對しては一割の配當になるより百五十六七圓がらみを保合つてゐる、手數料の値上げもいくらか强氣配とせる仁取株が當然上向くべき事情を有するに拘はらず上向かぬのであるかと云ふに其の理由は下のやうに見てよからう

(一)銀行の金融關係=餘りに突飛に上つた爲め銀行の貸出は一株八百圓か九十圓位に留めてゐる、従つて今日百圓と云ふのは少ない、従つて今日仁取を五十も買はうとすれば三四千圓の正金を要する思惑買は縮まざるを得ぬ茲に至れば京仁財界の實力は膨脹せりと云ふも知れたものである

(二)內地取引所株の不勢=仁取でも大に買はうとするものは內地の取引所株にも手を出してゐると見てよい所がその內地取引所株が近來振はない、從つて仁取を思惑する力も乏しい

(三)上り過ぎの反動=一月足らずの間に百圓も上つたから當然若干の反動は來る

仁取依然氣乘薄

仁取株は取引所の出來高好況なるに拘はらず何等伸力を示さず擦ぎ連の多き株界には一應の强材料とせらるべしと思はれし彼の三田光一の撒言も一向に反響を齎さざるより今朝高値摑みの狼狽投げ物現はれたるもの々く百五十三四圓より六圓迄に至り結局五十五圓に保合へ閉ぢ込む五十三圓四十枚の商內を見たるが其の晩は安値買狙ひに待つべし

電興稍上向く

モンド瓦斯電興は伸力漸々として振はず十八圓を高値として夫れ以上の商内を見ざりしが昨今稍引締り氣味あり十八圓五十錢にて昨日仁川にも百枚の商內ありたるが其筋の歩調はヂリ高傾向を帶び來れり

久原鑛業昂騰

戰後關係の旺盛なる可き見越されて早くより買氣付きたる久原株は其後伸び惱みの狀態なりしが最近相場の再昂を齎じたるに見て此株に買物多く昂騰して五六圓方昂騰を齎せり

近く同株が反對に上進せるに依る減の傾向ありて一時は戰局を見て各交戰國の政府が銅は軍需品として之所載品が市場に現はれざる條件を缺見したる揚句ならざれば相に買進み難き節もあらんかと

亞細亞買氣旺盛

八百倍乃至千倍と云ふ空前の人氣を以て去る八日愈々締切りたる亞細亞煙草は其の內容の充實せることゝ代表者の顏觸れに信賴して當地よりの買進み益々猛烈にて本日も十六圓より七圓三四十錢處にて二百二十枚の商內を見たるが尚後注文殺到する有樣に取扱店にては內地への買付に追はれつゝある好況を呈せり

南滿糖低落

南滿製糖は砂糖高に刺戟されて十七八圓の保合値より二十二圓を重ね四十二圓迄奔騰し昂騰を重ねたるが最近糖價の稍頭打ちたるに連れ同株も頓に不勢となり昨今の高値より五六圓方の低落を來したるが當地の手持は何れも時の高値摑みのものなれば糖值の直しを相待つて同株の反撥を期待し居れるもの多く安値は手放し兼ねたる風情あり

下關米取引所仲買 米 桝谷米市

多少に不拘御注文被下度候御取引ニ關シテハ下關第一銀行信用ノ上住友銀行支店又ハ百十銀行へ御問合ナ乞フ

滿蒙毛織下避り

滿蒙毛織株は例の東京毛織との合同談行惱みとの風說あるも何等の弱材料ならず依然高保合を續け本日も三十五圓にて百枚の商內を見たる程なれば其實質に侮り難き强味を有するものと見て可ならんか

本日の商內株

商船新百三十一圓五十錢にて五十枚▲大新三百二十五圓にて三十枚▲滿鐵第一新百四十九圓五十錢にて三十枚▲朝紡二十一圓二十錢より四十錢迄二百五十枚▲電興十八圓四十錢にて三十枚▲殖銀五十九圓より六十圓迄二百十枚▲正金新三百三十九圓にて三十枚▲滿蒙卅五圓にて百枚▲仁取百五十五圓五十錢より六圓迄三百四十枚▲亞細亞煙草十六圓より十七圓三十錢迄二百二十枚▲仁倉十一圓二十錢にて四十枚

べきものである殊に買方は彌滿腹氣味も見へてゐるのである從つて滿腹の消化並に反動の壓力を減せしむる材料が醸りしして來るまでは餘り上るまい‖唯以上の反動期に入つても百五十六七圓を下らぬ所に此株の頑强味がありて前途があらう、又內地の株界も保合を脫して上向くべき機運近まりつゝありと見られ强材料と云ふべく旁今日の仁取株は水栓のはまつた堤に水がドンドンたまると云ふ所である自然水が溢れるのは見安い理屈で從つて保合圈を脫することになるであらう

米況

東京期米特電

十六日後場	
寄附	三八、一一
高値	三七、八二
安値	三六、八二
止め	

大阪期米特電

	十六日後場	十七日前場
寄付	三六、六六	
高値	三六、九一	
安値	三六、六六	三六、五五
止め	三六、九一	

神戶期米特電

▲正米變らず

下關期米特電

十六日後場	
寄付	三六、二六
高値	三六、四八
安値	三六、二六
止め	三六、四一

十七日前場	當限	中限	先限
寄付	三九、〇〇	三七、三〇	三七、一〇
高値	三九、〇〇	三七、四八	三七、三〇
安値	三八、八〇	三七、二〇	三七、〇〇
止め	三九、〇〇	三七、四五	三七、一〇

仁川米豆取引所仲買人 仁川海岸町 齋藤榮之助 電話三六七、三六八、略號サ、又(ヤマサ)

仁川期米

十七日前場高保合

今朝天候喜雨各地入電未著なるも前日頓軟の氣勢を競ひ保合に止めし氣先阪地高値止めを移して人氣强硬に立合ひ當中出來不申先四十一圓廿錢と二十一丁高に寄付弱氣に提灯を付けしマバラ筋は狼狽して前引退き當いては⑦店より克く買ひて三十錢と形勢一變換様を示したるも戻りは因店の賣物に⑦の利喰ひも加り二十錢と下押せしが押目は⑦⑦透さず克く買ひて三錢と引

▲第二節 當中出來不申先二十四錢よりヂリ〱安の十九錢と押し引

▲第三節 當出來不申中⑦の買手ひに因の賣りて四十一圓二十錢と始め十五錢と押へ先十五錢よりて四錢と弛みしが押目は買物あり

▲第四節 當中出來不申先十六錢より四錢を吐き(?)と賣氣に⑦又好く買ひ二十六錢と返して引

▲第五節 中⑦の買因賈に二十五錢先因買に二十七八錢と上寄⑦の利喰ひに二十三錢と下押せし買に二十二錢と追込まれ六七錢の買と保合ひ結局二十五錢と閉鎖し散會せり

阪地高に促かれて二十錢より三十錢と返せしも高値は値頃觀よりの賣と十四錢と踏込まれしが⑦の買に再び三十錢に顯合せし茲に同筋の利喰ひとなるや

京城正米市場

賣人は引續き附値安の振り合なるも賣人は前場の期米高等に頑として賣應せざる爲め需口は餘儀なく賣人の主張に屆して望取るの外なき有樣にて氣配は矢張地摺神力上物三十八圓七十錢を持合ひ見當なり

京城岡崎町 櫻印 白 挽割麥 福岡精麥所 電話長貳壹六四

仁川正米市場

買過ぎ反動の頗打の形勢を示したる仁川正米市場も釜山群山の正米高と東京筋の買進みに牽制され又復賈氣を催して平澤三等神力四十二圓見當を買進みしも手持筋は產地出廻りを懸念して容易に賣急がず現在の在米は約七萬石を算するも內地契約滿み を差引けば僅かの殘存となる理なれば端境期を悲觀せる正米筋も少なからず地摺玄米も白米も白米往文の高値買ひの爲精米筋の買進みに四十圓五十錢見當を唱へ益々正米界は形勢一變して高步調を示せり

釜山正米市場

連日昇騰を重ねたる市場も餘り高過ぎたるより軟弱の傾向ありしに昨期米の軟報を入れし爲めに今朝一齊賣りに傾き七八十錢安三等神力四十二圓七十錢處にて五千三百叺商內あり大豆は强保合にて相場變らず千二百叺の商內ありたり

市場雜觀

九月限に對する鮮米の權威を戰いつゝある仁川市場の昨後場は硬軟共に見解を區々にして弱氣は因店より漫勢に賣浴せ强氣は⑦店より四十圓九十錢臺の指値を以つて猛烈に買進み結局九十八錢を睨合に散會を告けしが果して此の取組は如何に決するであらうかと戰場の注目を引きた之を眺めた提灯連は一寸氣迷ひの向が多い樣である値頃觀から考へると賣つて見たく又正米事情から推測すれば買方に提灯を付けたくもあるやうだが人氣は幾分値頃觀より賣り冪ひの氣味を現はして居れりた斯ふなると相場は一層興味ある相場を演ずるであらう併し內地米界の形勢は何となく氣迷しく鮮米に對する賈附なしである此の調子では目先安値も望まれないやうにも有る釜山の延取引は四十四圓と云ふ珍値で取引を行はれ定期を買ひて延を賣ると云ふ正米筋が健實な道を踏んで居る內地期米も伸力が强いと云ふのつゝも存外底値は發ないと云ふ反撥は免れない形勢を示して居る今朝立會は前日⑦の買ひに因の賣で市場の注目となつた睨合相場は引跡阪地の高移りに入氣强硬に先四十一圓二十錢と二十二丁高に始め⑦⑦と鋭いて好く買ひて三十錢と引締まりしが戻りは因難平に克く賣り押せしが押目は⑦⑦弗々買進みつゝあるも値頃思ひの賈冪ひに存外伸力鈍く動くもすれは反落せん形勢を示し何となく賣方に手詰を急がれん塲況にて益々伸悩みの傾向なるが買方としては斯の如き相場を應じてマバラ筋に喰込まれる程反撥力を増すに非らずやと押目は克く買進み居るが如し呆して如何

三品

大阪三品特電

十六日前場	
七月限	五七、三一〇
八月限	五六、三二〇
九月限	五五、二一〇
十月限	五四、一七〇
十一月限	五一、六五〇
十二月限	五〇、五〇〇

各地米況電報

十六日總督府入電

釜山本日取引無し

仁川三等正米 四十一圓八十錢

群山三等正米 (弱保合) 四十一圓五十錢 (同)

◇公定值段

一節	四十一圓卅四錢
二節	四十一圓廿一錢
三節	四十一圓廿五錢
四節	四十一圓卅一錢

十七日前場	
寄付	四十一圓二十錢
高値	四十一圓廿五錢
安値	四十一圓二十錢
止値	四十一圓卅四錢

◇出來高 二十萬七千百石

◇公定值段

一節	四十一圓廿四錢
二節	四十一圓廿一錢
三節	四十一圓廿五錢
四節	四十一圓廿二錢
五節	四十一圓廿八錢

帳入値段

中限	四十一圓廿七錢
先限	四十一圓十五錢

伸惱み二十五錢と保合ひ裡に打止め阪地高の割に伸力鈍ぶかりしは要するに買方の警戒と戾待に賣驀はれたる結果なり

綿布需要期待

綿布は大阪の高電にも拘はらず當地は相も變らず見送り狀態にて商內益々減少の一方なり昨今の市況は既に閑散を通り越し各店共に徒然に苦みつゝあるが粗布三エーの如き製產數に一定の制限あるものは需要期の供給不足を見越されて居れる丈け先物二十一圓は買聲なるも此處貨物なく其他一般に手堅く持合ひ手持筋の總てが時期待ちといふ振合

雜報

砂糖投物續出

去る十二日夜突如精糖暴落の入電に接して一大活劇を演じたる當地砂糖界は後前電報の誤りを傳へ市況忽ち回復せし事實ありしに分密の暴落せし事實ありしこ一般値頃警戒の潛みもあり漸く人氣に龜裂を生じ素人思惑筋の嫌氣さ利喰ひ急ぎを喚びつゝあり機先內地市場は分密の五十五圓精糖六十五圓を最高として五日の市場は遂に分密二十九圓精糖四十七圓さ十八圓高の暴落を演したる由にて此報の傳はるや素人筋及鮮人支那人の思惑筋は一段恐怖氣付き此處我一にと手持の全部を投退かんと昨日〆本日に亘り之等の賣物各店に殺到し來りつゝあるが有力當業者として も各自持品少なからさる場合進むで全部取らん勇氣なく之を眺めたる嫌氣筋は此處成行きに放賣せんと焦せり來る一方にて本日の如き四十二圓の賣物はザラに出で中には買人あらは十七八圓迄投け應ぜんとする向もありとかにて市況は愈々大亂調を示し居れり併し會社値は今尙過日發表せし四十五圓を持續し居ればす當業者としては眼先會社の態度に注目し之が如何によりて各其方針を定めん意嚮あるが如く之が見極め著くまでは多く買らず賣はずに見送らん形勢なり

浪平板反動安

前月來英米品の輸入途切と原板拂底による本邦製品の供給薄を相にし約小一圓方の奔騰を示せし浪平板も昨今漸く行過ぎの觀を呈し阪地の反動安に應じ眼先多少下押しの傾向なり

鑵詰一齊引締る

鑵詰類は容器鑵材の反騰に次で砂糖相場の狂騰影響を受け各魚菜類を通じ最近五分乃至一割方引返せり殊に筍の如きは新物當時の產額減により漸次品薄相場を現はし昨今大鍋一圓十錢こいふ新値に進み松茸に至つては在荷皆無の狀態にて値に拘はらず現品手に入らずといふ

干瓢新物出遲れ

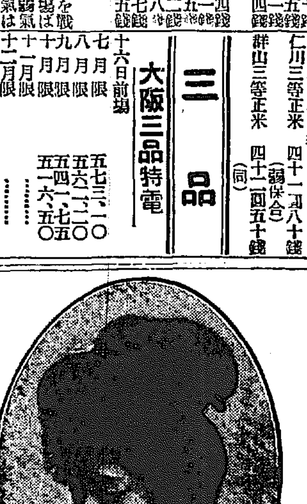
一時在荷豐富を謳はれし干瓢も他品に比し著しく割安を持續し來りし後丈けに案外消化を早め此處端境に至り古品拂底の一面新物は天候關係にて期約十日間出遲れこなりし爲め產地相場は最近一氣五六圓方の奔騰を告け之に對し當地又三圓方引締まれり

仁川米豆取引所仲買人 仁川海岸町三丁目 丸仲買店 電話長四〇四番 二二〇番 略號(ア叉)へ(カ チ タ)

萬人向きする 美しい美しい

肌色美顏水

去年迄斯ういふものは無かつた



◇お化粧上手と 言はれるやうな方々の間には、以前から肌色の水白粉も使はれてゐたものですが それは肌色の水白粉がよく似合つて、化粧美を現す場合も少くない上、種々工合のよい事がありますからで

◇白い人と同じ やうなお化粧になるからです。それから顏に脂肪が多かつたり吹出物があつたり肌理細かで無い樣な方は白粉が附きにくゝ且つ剝げ易いものですが、肌色美顏水ですとお化粧が誠に宜よく

◇現に婦人方は 近頃盛に其れをお用ひになる樣になりましたが、今其の方々の使はれるのは重に桃谷研究試驗所で創製した肌色美顏水です。肌色美顏水は餘り眞白で無く濃過ぎず、亦餘り淡過ぎもせず

◇勞なく綺麗に 附き、萬一顏の內でも殊に脂肪の多い部分なきが剝ける事があつても、肌色の附いてゐる水白粉ですから別に際立つ事もなく、何時までも化粧美を保つてゐるのです。此水白粉は以前から

◇中程度の化粧 をお好みの方に丁度よく出來てゐますから、多くの方に是れが大層重寶こいふ感じを與へたのですが、尙色の白く無いお顏には餘り眞白なお化粧は變なので、從來困つてゐた樣な方々には

◇高貴方御用命 に依り諸製著進してゐたものですが、世のお化粧の進步に連れて昨年から一般に發賣し出したのですが、其後日に日に盛に皆樣の間に擴りつゝあります。肌色美顏水は化粧品の中でも日常

◇白い所へ輕い 美しい肌色の附いてゐる此水白粉の誠に工合のよい事が解つたのです。何故なら肌色美顏水は白い事は白くても、其れに含んでゐる自然の肌色で調和が採つてあるので、丁度性來色の

◇必要品である こいふ定評になつて居りますが、一度お試しになれば新しい學術から生れた此化粧料が、皆樣の進步した化粧上のお考へに充分滿足を致す事は責任を以て申上げます(定價一瓶廿五錢)

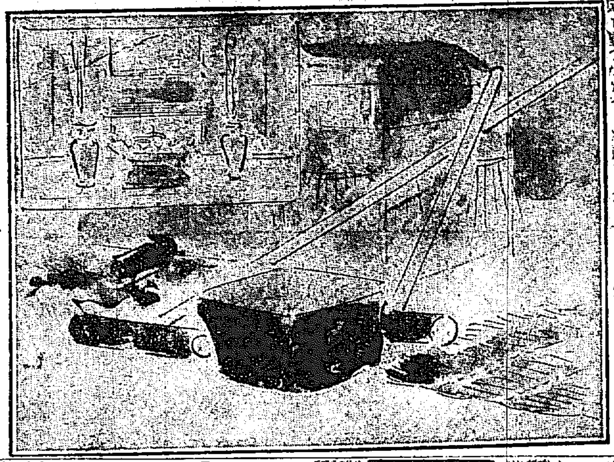
去年迄斯ういふものは無かつた

日本名刀傳 百三

東京 田邊南龍講演

五郎正宗（卅二）

其後正宗の名聲は天下に輝き渡つて居りますので、立派な仕事場も新築し、正面に稲荷山大明神の軸を掛け神酒を供へ、實に堂々たるもの父行光の喜びは更なり、叔父國光の喜びも一方ならず、前回にも申し述べました行光の一番弟子の藤兵衛、五郎を蔭になり日向になり庇護ぬいて、遂に継子苛めを見るのが辛いと云つて逐夫致しましたが、其後尋ね出して正宗は我家の番頭と致した、所が藤兵衛病氣で暫く自分の故郷へ歸つて居たのが全快してまたやつて來ました、正宗は喜んで『オヽ藤兵衛だつたか、お前が行方知れずになつた時も、隨分お前にかけて彼方此方と探しぬいたが、漸く見出してヤレ嬉しやと思ふとまたも病氣で故郷に歸つたが、雨につけ風につけお前の身を案じぬことはなかつたが、能うまア全快して來て呉れた、私のお蔭で御番鍛冶に迄出世したが、母親さんも此節は大層私を可愛がつて下すつて實の親と少しも違はぬやうになつたから安心して呉れ』藤『若旦那は實に豪い御出世、斯様うれしいことはありません、餘り貴方がお可哀相なので私は見て居ることが出來ないで飛出しましたが、若旦那に見出されて一旦戻つたものの直病氣にかゝり、故郷越前で養生して漸く全快、それから暫らく旅を歩いて好い刀鍛冶があつたら就て修業し、少しは腕を磨いて鎌倉へ歸らうと、諸方を廻つては見ましたが、生來刀鍛冶には向かぬものと見えてとうとう腕は一向に上りません』正『ア何でも宜いから我家に居て萬事世話をして貰ひたい』と正宗は藤兵衛を恩人と思ひますから心置きなく家事一切を任せ、残念ながら藤兵衛氣象は好い人物でありますが腕が鈍いので、今では刀鍛冶は廢めて正宗の家の支配人とも云ふべき役を勤め、鎌倉に一家を構へて兄わも迎へ取り妻を娶つて日々正宗の家へ通つて居ります、正宗の兄新太郎は如何に修業しても刀鍛冶として世に立つて往くだけの腕が出來ませんので腕の鈍いことは殆んど藤兵衛と同様でありますから、行光夫婦は行末を案じて田地田畠を多く買つて新太郎にあてがひ、下作人を置いて一生安樂に暮させることに致しました、正宗の妻は鎌倉在の百姓九左衛門の娘でお定、容貌も可なりで性質も優しく貞淑で女らしい、娘のたかねも追々成長して一家益々繁昌、正宗の腕は愈々上達して實に天下第一と稱ばれるやうになりました、後世の學者方の著はされた歷史を拜見しても立派に『刀工正宗大いに名あり』と書かれてありますが、楠正成が愛藏した正宗の劒も今に傳はつて居ります、正宗の妻を迎へたのは三十歳、娘を儲けたのが三十九歳の時であると申します、其後物變り星移つて正宗五十六歳の時に正宗は熟々考へました、自分は多くの刀を鍛へたが、其の刀に依つて幾程の人命を絶つたか知れない、商賣とは申しながら自分の刀に依つて命を失つた人々のことを考へると、其の後世を弔らはなければならぬ、依つて佛門に入り、また暇があれば靈山靈場を尋ねて是等の人々の冥福を祈らう、菩提を弔らはうと考へましたので、入道して寶龍齋と名乘りました



牛乳 朝鮮病院 成歡ホテル 御用 京城東四軒町 岡野牧場 電話一六〇九番

農信

▲朝鮮發賣元 松の實羊羹 ▲名產 明治屋

麥作 中和(平南)

平南中和郡に於ける麥作狀況を聞くに同地方は廿日程前より降雨なき爲め結實十分ならず例年に比し約三割の減收ならんと而も他一般農作物も旱魃の爲め生育良好ならず殊に畑作稻の如きも成育不良にして甚だしきは枯死するものさへありと

麥作 平南寧遠

平安南道寧遠にては成育期間中成績良好なりしかど其の後追肥の溫度に大差ありしと降雨多量なりし爲め熟穗十分ならずして乾燥したる爲め坪刈の反當り五升の減收を來し其他雜穀を除く一般作物も何れも成績不良を稱ふるに至り天候尙順調ならざれば一般作物は不良成績を見るに至るべしと

京城本町二丁目 野田時計舖 (電話三〇八番)

棉作 平南寧遠

發芽當時成績不良なりし爲め豫定の計畫の作反別より減少せるも其後棉作に順調の天候を迎へたるを以て發育極めて良好となれりと

平南の害蟲驅除

夜盜蟲 平安南道にては一時各郡に夜盜蟲の發生夥しく爲め被害甚大なるものありしが當局に於て驅除を奬勵したると今や第一期終熄時期に際したるとに因り一先づ終熄するに至りたるも第二期の發生を思ひ目下豫防驅除に努力しつゝありと

皮膚科 外科 專門 扇田醫院 京城太平通二丁目 電話二二五八番

七月十九日

（舊）六月二十二日 劍北 みづのえさる 先負 底 一白 暗

▼一白 ▲手から水の漏り相な日

▼二黑 ▲目上の引立あるか又は何事か幸運のめぐり來る日なり

▼三碧 ▲かね錢上の事に利益ある日なれど酒食を嚴かに戒むべし

▼四綠 ▲用心深くすべき日なり

▼五黃 ▲勇み立つ樣な日意外に物事のスラ〳〵捗の行く日なり

▼六白 ▲金錢上又は男女間に紛あり

▼七赤 ▲心正しく吉運を迎ふべし

▼八白 ▲跡の向き來る日にて行く先々を正しく吉運を迎ふれば可也

▼九紫 ▲運命のつかぬ日の中に目上の引立を得べき日なれば心正しく吉運を迎ふべし

淋病患者の福音

新藥エルモールの發見 富士製藥會社の名譽

■男子の淋病 若い青年の出來心から、又は世間の交際上、一寸花柳界に遊んだ四五日目から何だか妙にムヅ痒い様な心地がして又時々蟻が這ふ様な痛さも感じ、次第に黄色の膿が出て來る、度々小便を催すが其のした跡が錐でもまれる程痛い、これが急性淋病の症狀である。それを外聞が悪いと治療せずに捨て置くと何時しか痛みが薄らぎ膿も少くなり素人目には殆ど全快した樣な心地になるが酒を飲むとか時候の變り目などには又元の急性淋病の樣に再發して來て非常に苦しむこれを慢性淋病と云ふ

■女子の淋病 女子の淋病即ち俗に云ふ消渇は男子の淋毒が感染して起る病氣だが男子の其れ程痛みは烈しくない、只腰や下り物を見、非常に寒けがして腰が冷る、これが段々進んで女の命を奪ふ所の恐ろしい子宮病になるのである、幸ひに夫が全快しても、もう懷妊する事能はず離縁されたり冷かな家庭に一生を泣いて暮す事になる、故に、もし夫が妻に傳染せしめた場合は夫婦同時に治療するがよい。夫婦がお互に秘密にして別々に治療してると夫が全快しても妻から傳染し、妻が治つても又夫から傳染して何時まで經つても全快せず立派な慢性にして仕舞ふ事になる

■慢性の危險 慢性淋病程困つた病氣はない。自分では殆ど全快した氣でゐるから平氣で相手に傳染させるし、ウッカリ、毒が手に付いて眼に入れば一夜にして盲目になる風眼を起し、足の關節に淋毒が廻れば跛足、蹇の不具者となる殊に男子の淋毒は内行して睪丸炎を起せば苦しさ痛さは筆紙の盡す能はざる所、幸ひに其が全快しても最早妻をして懷妊せしむる事能はず、先祖の祭りも絶たれて仕舞ふされば今其害毒の痛苦はない慢性患者でも左記新藥の發見を幸ひ此際一日も早く之が根治を計るべきである。

■療法の比較 現今の淋病の療法に三種ある。其一は洗滌療法でよく專門病院で行はれるが不熟練な醫師が行ると彼の恐るべき淋菌を段々奥の方に追込む危險があり、況や素人が洗滌するのは絶對に避けねばならぬ。其二は注射療法で學理としては最新のものであるが未だ研究中のもので效果尚許すべきでない其三は服藥療法で危險なく最も安全であるが其効果遅緩にして、一箇月も二箇月も服藥せねば全治せしむる事が出來なかつたのは甚だ遺憾であつた。

■新藥の發明 そこで富士製藥會社の研究室に幹部の醫學博士藥學士以下一同が熱心研究の結果淋病の新藥エルモールと云ふを發見した。動物試驗の結果も僅々二時間に速効あり殺菌力強く悪作用なく理想的な治淋藥として近く醫界にも確認され專門醫師にもドシ〳〵實用されて來たこれ會社の大なる名譽である然しこれは賣藥でないから効能書を附して一般世人に發賣する事が出來なかつたが、今度右新藥を錠劑として賣藥免許を受け一般に賣出したのである。故に今迄は醫師に掛らずとも此の効能顯著の治淋藥を飲み自宅に於て秘密に人知れず治療する事が出來る様になつた。尤も右エルモール錠は藥力峻烈であるから服藥後一時間迄に更にフジコールと云ふ藥を飲んで之を緩和せしめる等飽まで最新の醫學を應用し恰も專門病院に入院して治療する樣に至れり盡せりの療治が自宅で出來る樣になつたのは同會社のメイルオーダー部の特色である夫で其藥價はと云ふとエルモール錠百個入（一週間分）金二圓八十錢副用藥フジコール同量二圓合計四圓八十錢でありますけれども醫師に掛るよりはズツト安く且つ秘密に治療が出來る特色がある尤も七日分の小瓶もあるが、其れでは餘程の輕症でないと全快が覺付かなく、二回目の注文をする暇に折角治り掛けた病氣が後戻りする事になるから是非この四圓八十錢分をお勸めする勿論普通の左程重くない慢性の方は此四圓八十錢分で充分だが是れまであらゆる治療に手を盡しても全快せぬ最も頑固なる慢性患者の爲に前記藥の外更に富士三十一號といふ淋藥を添へるかく三藥併用すれば此新藥理コンビナチオンス、メトーデの理論となり治療一層速くなるが出來る、故に此三藥を一週間分を頑固慢性用として藥價金十二圓にて提供するから頑固慢性の方は初めから之を用ゐるが得利益である

■御注文の方法 御注文の方法は振替貯金又は郵便爲替にて藥價を添へ直ちに御注文しますヌハガキにて申越次第代價は代金引替にて送りしても宜しく、性病は一日も早く服藥を要しますから電報で御注文下されば其金引替にて直ちに發送します、此際電報文は『エフ〇ナニムラナンバンチナンノタレ』と御觀を願ひます右のエフ〇〇の三字でエルモール錠フジコール代金引替で送れと云ふ暗號で其の下に御住所氏名御詳記を願ひます。若し又頑固慢性用の御注文ならマン〇で分ります斯の如く簡單な手續きで諸君は彼の恐るべき淋病を簡易に秘密に迅速に治癒しむる事が出來ます熱い汁に舌を痛いて膾やお刺身迄も吹いて食ふと云ふ譬へもあるが、無責任な賣藥に懲りた諸君も是非一度は此新藥を御試あれ、どんなにひどい淋病でも湯にても夢の如く速治いたします、以上の廣告に就ては常に會社の名譽に掛けても斷じてウソ僞りは申上ませぬ

懸賞尋人

▲原籍大阪府泉南郡 ▲名玉川事 左右光惠 當廿五歲 ▲特徵 色白く痩せ方顏長く身長普通より稍や高く鼻普通前齒二本共大にして笑へば稍や出齒 右者六月三十日午後十時頃行衞不明につき本人發見の方は自分へ至急御内報被下度本人引取りの上謝禮として金壹百圓也 贈呈可致候 中埗府町 美人種事 小林彌平

本劑は大病院の醫學博士諸賢が胃腸病に用ゐて著效ある事を證明せし本邦唯一の胃腸藥なり

ゲンノシヨウコエキス

藥價 廿五錢 四十錢 六十錢 一圓 十錢 東洋藥房 本舖 京城 電話

債券 ▲朝鮮總督府認可 ▲公債債券月賦販賣 大連債券株式會社 大連市西通二丁目十二號地 電話長一五二四番 振替大連二三〇〇番 ▲勸業債券高價買入 ▲營業案内無代進呈 債券

平瓶發賣

登錄商標 金鶴香水

中瓶と小瓶の中間型

直段格好……御進物用又は御手土産に至極適當

定價金壹圓參拾錢

鶴香水日本輸入元 花王石鹼關西代理店 大阪 大崎組商會

花王石鹼製造元 鶴香水關東代理店 東京 長瀨商會

歐米各國新染料 洋青藍シバインヂゴ 硫化染料各色 塗料工業用藥品

新荷着

出張所 大阪東區南久寶寺町 小倉市東海岸通り

支店 久留米、佐賀、熊本 鹿兒島、直方

ニトロサミンレット泥狀

製造販賣 ▲日本舍密製造株式會社 ▲日本ペイント製造株式會社 ▲東洋木材防腐株式會社

一手特約販賣 福岡市博多下魚町一三 八井上染料本店 電話 長一番 一三九四番 振替福岡 一五番 電略（キヨ又ハキ）

日本郵船仁川出帆 大連、天津、牛莊行 濟州丸 七月 日正午出帆 高砂丸 七月 日正午出帆 相模丸 七月 日正午出帆 都合ニヨリ早發スルコトアルヘシ 仁川岸町一丁目電話十番 同出張所

共同汽船仁川出帆 ▲大連直行 第十二共同丸 七月十八日午後入港 七月十九日正午出帆 ▲青島直行 第十六共同丸 七月 日午前入港 七月 日午前出帆 ▲秦皇島行 第十三共同丸 七月 日午後入港 七月 日正午出帆 朝鮮鐵道主要驛にて荷客連絡 大阪及大連にて青島行定期船と接續 共通輸送 阿波共同汽船株式會社 木浦四丁目電話一七三番 仁川代理店 野口商會 仁川代理店 田口回漕部 元山代理店 南大門 京城取次店 河村運送店

尼崎汽船仁川出帆 群山、木浦、下ノ關、大阪行 △赤心丸 七月 日後四時出 △一神代丸 七月 日後四時出 △秀吉丸 七月 日後四時出 △君が代丸 七月 日後四時出 △大有丸 七月 日後四時出 ○第一運輸丸 七月 日後四時出 ○印船客御斷 仁川海岸通二丁目 電話五九番 高杉回漕部

五光商會汽船出帆廣告 ◎元山、西湖、城津、清津行 第三 七月 日釜山發 七月 日元山發 ◎門司、宇品、神戸、大阪行 第三 七月 日元山發 七月 日釜山發 釜山 大池回漕部 電話一三 元山 田口回漕店

朝鮮郵船出帆 ▲敦賀行 清津、城津、元山經由 平安丸 七月二十日清津發 七月廿二日元山發 ▲浦汐行 城津、清津經由 忠清丸 七月三十日釜山發 八月一日元山發 ▲雄基行 關門發釜山、各港經由 京畿丸 七月十八日釜山發 七月廿三日元山發 咸鏡丸 七月十八日元山發 ▲元山雄基線 鏡城丸 七月十九日元山發 ▲大阪行 釜山、關門、神戸經由 忠清丸 七月十九日元山發 七月二十一日釜山發 ▲關門行 各港經由 雄基丸 七月十九日元山發 平壤丸 七月廿一日釜山發 七月廿四日釜山發 ▲金剛山遊覽便 元山發長箭行 七月十八日元山發 鬱陵島行 釜山發浦項及各地經由 彦德丸 七月二十日釜山發 ▲濟州島行 慶信丸 七月 日釜山發 ▲濟洲島行 公州丸 七月十九日 木浦發 ▲多島海行 木浦發多島海各島行 慶興丸 七月廿一日木浦發 ▲木浦行 仁川發各地經由 江山島 七月廿一日仁川發 ▲鎮南浦行 仁川發各港經由 晉州丸 七月十八日仁川發 ▲大連青島行 仁川發芝罘經由 江原丸 七月廿一日仁川發 本社 京城南大門通 電話長三三二 釜山支店 元山出張所 仁川代理店 木浦代理店 京城荷客取扱店 其他各寄港地ニ荷客取扱店アリ

第五版

京城日報

（年中無休刊）

本紙定價 一部金五錢 壹箇月金七十五錢▲郵稅拾五錢 郵送前金▲參箇月前金貳圓六拾錢▲六箇月同五圓廿錢▲壹箇年同拾圓▲郵券代用二割增

廣告料金 五號十四字詰一行一圓五號同特別二號二十字詰同二圓▲同三號八字詰同二圓▲四號九字詰同二圓七十錢▲別號十六字詰金一圓

發行兼編輯人 奧田直毅 印刷人 小川三之介

發行所 京城太平通一丁目 合資會社京城日報社 電話番號 長六千九〇〇三番 振替京城三〇三番

ウイルソン氏の解剖（二）

講和會議より見たる

ケー、エス生

六月十二日紐育にて

◎然らばウイルソン氏は果して平和會議にて彼の有名なる十四箇條を固守し最後迄其堂々たる主張を徹底し得たかと問ふならば私は否と答へる、第一彼は平和會議の公開を主張し乍ら初めは五大國會議に制限し更に日本を除外して四大國會議としたではないか、口には民本主義を主張し乍ら斯の如き排他的な貴族主義があるものでない、既に五大國に制限した際すら他の小國委員より猛烈な反抗があつた、更に之を四大國に制限した時日本の委員だとて、勿論沈默を守りはしなかつたらう

◎之れ彼の第一の失敗である何となれば彼の味方は勿論戰時中其國家的地位を世界第一等に擡げた米國自身ではあるがそれと同時に彼が有する其洗練された民衆指導者としての技倆であつた、然るに秘密會議は此有力なる武器を彼より奪ひ去つた

◎更に彼はアドリアチックのフユーメ問題に於てイタリアに手こずつた、イタリアはウイルソン氏が知らぬ間に英佛兩國と密約を締結して居た、其上にイタリアはウイルソン氏自身の十四箇條の[illegible]物、即ち（民族自決）を楯にとつて一歩もウイルソン氏に讓らうとしなかつた

◎問題は單にそれだけに留まらなかつた、彼の後援たるべき米國民自身も彼に裏切つた、ロッヂ氏が頭とする元老院外交委員の大多數はもし國際聯盟條約中にモンロー主義を確保するの條文を加へざれば國際聯盟其物をも破棄すべしと宣言した、元來米國憲法に從へば大統領の締結したる條約と雖も元老院は之を否決するの權利を有する、本年二月彼がパリーより中途歸米したる目的は之等元老院議員を緩和するにあつたのは勿論である、彼れの歸米は多少の効果はあつた、國際聯盟其物にすら反對と見ねたロッヂ氏も其後に至つて態度を改め條約にして修正さるればと賛成の意を漏らした、然し乍らウイルソン氏をして巴里に歸るや否やモンロー主義條文加入の主張を爲さしめたのは云ふ迄もなく此帝國主義の權化たるロッヂ一派其他の共和黨員に外ならぬものである、

◎斯の如くにして彼は事毎に其十四箇條を破棄し、然し乍ら之を以て彼を僞善者と呼ぶならば實はかく云ふ人自身があまりにウイルソン氏を祭りあげて居るのである、何となればかく云ふ人はウイルソン氏が初めから斯る事を計畫して然も口には其の爲した所と異なれる主張をなしたと思ふからである、つまりウイルソン氏の爲した事は豫定の計畫だと信ずるからである

かう云ふ人はウイルソンと云ふ一個の人間を普通の人間と異なつた範疇の中に入れ込まうとする人々である、それは英雄崇拜時代の殘骸たる貴族的觀念に過ぎない、乞ふ彼れを汝の神棚より引おろせ、而して我等と同じ人間として取扱へ彼と我等との間に經驗及び能力に於て程度の差はあらう、然し猿と人間程のギャップはないのだ、熊公、八公と、我等の差が大したものでないやうに、ウイルソン、クレマンソー、ロイドジョージ氏等と我等の差とて知れたものだ

オ政府形勢一

今後の政局

首相冷淡 最近浦鹽電報はオムスク政府の動搖を報じ藏相ミハイロフ辭職しツレチヤコフ新に藏相に就任し內閣秘書官ギンス農相に任ぜられたりとのことなるが若し此報道を事實なりとせばミハイロフ辭職してオ政府を去りたるは最も注目を要すべし元來オ政府はロゴードスキーが首相なればオ內閣はオ氏の主宰下に在るべき筈なれども實際は然らず近來オ首相の勢力は著しく衰退し之が爲め政務に冷淡也との批評あり之に反し藏相ミハイロフの權勢隆盛を加へ爾來オ內閣は殆んどミハイロフ一人にて切廻すが如き觀を呈しオ總理は單に名義上の首相たるに止り且四圍の情況は民主各派の反對氣勢盛んなる爲めオ總理に不利なるものあり然ればオ總理辭職說の傳へられたるや既に一再にあらず近頃オ氏が政務に冷淡なるは這般の理由に依るものなるべく然るに今回傳へられたる辭職がオ總理にあらずしてオ政府の中心人物たる藏相ミハイロフなるは聊か意外の感なきにあらず

藏相辭職 然れどもミハイロフは漸く三十歲の少壯者にしてオムスク地方にては多少名を知られ居れここにて財政上の知識經驗乏しく重大なる一國の財政を託すべき器にあらず氏の財政に關しては從來一般の批難多く最近の幣制改革、ケレンスキー札撤廢の如き氏に對する毀譽褒貶甚だしく改革其宜しきを得ざりし結果留の暴落を招いて何時改善すとも見えず剩へ正貨たるべきオ紙幣の方が却つて廢棄せられたるケレンスキー札よりも相場不良となり西伯利の財政經濟界之が爲めに混沌として攪亂せられ商業取引至難となり內外人共に非常の迷惑を蒙りたる次第にて之とミハイロフに對する世上の批難は一變して不信用を叫ぶ者あるに至りたれば今日藏相ミハイロフの辭職を見たるは決して偶然にあらずと謂ふべきなり

後任藏相 而して後任藏相となれるトレヂヤコフは莫斯科カデット黨（立憲民主黨）の有力家にして大資本家として名望高くケレンスキー時代に一度選ばれて藏相の椅子に就きしことあり其後露本國を逃れて英佛に亡命中なりしを今度オムスクに招聘したるものなり財政上の知識經驗に關してはミハイロフは到底トレヂヤコフの比にあらず社會の歡迎する所にしてミハイロフに依りて亂されたる財界整理の爲めにト氏に多大の期待を囑し居れり要するにミハイロフの辭職はオ政府の將來に至大の關係を有すべきや勿論にして內閣の基礎を鞏固にして非民主派並に民主派國內全般の信認を博せんには今後とても內閣改造の必要あるべく今日の如くオムスク政府が純然たるカデット黨員のみの政府たる以上は民主各派との折衝融和甚だ困難なる可き事情もあればオ政府の將來は尚ほ樂觀し得ざるものありと見ざるべからず此オ內閣異動の報道は英國の半機關紙たる浦鹽發行露字新聞エホー紙のみに記載されたるものなれば眞僞尚ほ不明にして在東京オ政府通信局員ミタレスキーは事實無根なりとし打消し居れりと

佐々木君の小作農保護計畫に就て（六）

小原農商工部長官談

第十五條 雖尚小作額の免除をなすこと場合は部落委員は之を調査し組合長に報告するものとす

第十六條 組合長は前條の報告に依り減免の必要ありと認むる時は相談役評議員立會の上實地檢見を行ふべし

第十七條 前條檢見の結果減免の必要ありと認むるときは其の程度に應じ積立基本金中より相應額を補助すべし

第十八條 前條の補助の爲積立基本金より支出する場合は佐々木家は其の積立基本金四萬圓に達する迄其の支出金を補充補助するものとす

第十九條 本組合は每年必ず一回小作米品評會を行ひ一等、二等、三等に分ち顧問より賞品を授與す

第二十條 授賞審查は組合技手並に組合より囑託せる審查員之を行ふ

第二十一條 賞品の員數及其の額は左の如し 一等拾圓十八人 二等五圓二十人 三等二圓五十人

第二十二條 前條賞品金額は每年佐々木家之を支出す

第二十三條 出品及審查其の他に關する細目は顧問之を定む

第五章 總會及評議員會

第二十四條 本組合の總會は定時と臨時とに分ち定時總會は每年四月之を開き臨時總會は必要のとき之を開く

第二十五條 評議員會は必要の都度之を開く

第二十六條 總會及評議員會は組合長之を招集す

第二十七條 總會及評議員會の決議は出席員の半數以上の同意を要す

第六章 會計

第二十八條 本組合の會計年度は每年四月一日に始まり翌年三月三十一日に終る

第二十九條 組合長は每年三月三十一日現在を以て決算を行ひ顧問の審查を經て總會に報告すること

第七章 組合員の權利

第三十條 組合員は定額小作料一俵每に之を持分一口とし口數に應じて財合財產に對する權利を有す、口數は一俵未滿の端數は之を切捨て計算す但し定額小作料一俵未滿の場は一口として計算す

第三十一條 佐々木家は第三十八條及第三十九條に依る場合の外は小作人の小作權を取上げず

第三十二條 組合員は顧問の承認を經て其の持分を小作權と共に賣買讓渡又は抵當權、質權を設定することを得

第三十三條 組合積立金二萬圓以上に達したるときは組合の爲に朝鮮に於て有利なる動產を購入し組合附屬農園を造るものとす

第三十四條 前條組合員中子弟の附屬農園に移住せむとする場合は組合は之を援助し農事を經營せしむるものとす

第三十五條 前條附屬農園より生ずる利益金の一部は每年組合員の持分に應じて之を配當することを得

錬膽錄

環溪和尚

三笑生

◇環溪和尚、諱は密雲、環溪は其の號である、永平寺の貫主で、明治の初年に於て、佛教界に一方の重鎭であつた。

◇或る時、陸軍パリ／＼の將校が五六人、久我家に集まつて酒を飲んで居つた。其處に入つて來たのが環溪和尚であつた。之を見た將校の面々は、一つ和尚を醉ひ潰してやらうと云ふので、早速大杯を交る／＼差し付けた。和尚は、更にたぢろく氣色もなく、一々之を受けては、綺麗に呑み乾して酬いた。そして何日まで經つても醉つたやうな顏付をせぬ。終には將校連が却つて滿醉して、和尚のさす杯を受くることが出來なくなつた。之れを見た環溪和尚は『而前等の敵を控へて、之を呑却する底の漢にあらずんば、英雄とは云ひがたい。然るに貴公等は、それしきの酒に醉ひ潰れた樣子、誠に情ない話ではないか。醜態共奴、少し修養するが好い』と呵々大笑した。これには將校連も、一泡吹かずには居られなかつた。

◇明治五年、朝廷に教部省を置き、神佛を合して、大教院を設立し、僧侶と神官と、一人づつ交代に、其の管長たらしめた事がある。偶々環溪和尚が管長になつた時の事である。神官連は、一つ此の和尚を困らしてやらうと、難題を持ちかけて來て『神社の祭典を行ふ時に、僧侶が法衣を著、珠數を爪ぐり死鳥死魚を神に捧ぐるは面白くない。そんな場合には、僧侶も烏帽子を被らせ、直垂を著けるが好い』と云ふのであつた。斯んな事位で凹む和尚ぢやない『それは實に面白い。是非さうしたいものぢや。ぢやが、其代り神官も、寺院に來た時は、髮を剃り落して、法衣を著けるが好い』と間髮を容れぬ返答には、流石の神官連も顏色が靑くなつて仕舞つた。

◇和尚はまた俳句が好きであつた。嘗て某氏が引導を請ふ、和尚は、鐵如意を按じて、棺に向ひ『箔ぬりの佛も人の案山子かな…喝！』と言つた。家人は除りのあつけなさに、或る他の和尚に、引導の仕直しを頼むと、『環溪和尚の一句誠に盡せり。我が千部萬部の讀經回向も、其功德には遠く及ばぬとぢや』と言つたさうな。『六十の脚下の旅仕たく』是れは、環溪和尚が、得々として行脚に上る時の一什であつた。

◇環溪和尚一代の言行、是れ禪味か俳味か、直ちに天地風雅の懷に飛び込み、天眞法爾の別瞻と相照す底の人でなくては夢にだも此の間の消息を伺ふことは出來ぬ。

登江樓

天安郡 徐廷國

登樓蕭日作清遊。江水悠々抱郎流。漢北名區開大嶽。海東勝槪八青邱。參差樹色閑平野。荏苒夕暉低遠洲。客袂天寒歸不得。蒼茫靄靄設添愁。

獨上高樓眺勝遊。長江滾々東向流。開闢一撰開新社。山水絕奇都古邱。坐對南風來遠嶼。更勸明月滿空洲。詩人不用嗔搜苦。極目雲煙紙餘愁。

高野竹隱評 第一首風格遒上不下中唐以下

東亞煙草株式會社新株募集廣告

一、本社は其營業地域なる支那朝鮮西比利亞に於ける煙草事業擴張の爲今般資本を增加して壹千萬圓とす

一、本社は政府專賣局より煙草輸移出其他の特許を受け且其監督の下に經營す

一、本社は新株壹萬四千株を割き公募に付するを以て此機會を逸せず應募あらんことを望む

新株募集要項

公募株金額 金七拾萬圓（增資金七百萬圓の內）

公募株數 壹萬四千株（一株額面金五拾圓）

申込價額 壹株に付額面超過金 金拾五圓以上（單位拾錢）

申込證據金 壹株に付 金貳圓五拾錢（第一回株金拂込に振替）

申込株數 拾株單位（拾位未滿の數を附せず）

申込期間 大正八年七月廿三日ヨリ同廿六日迄（郵便に依る申込は申込最終日の營業時間內に到着したるものに限る）

募入決定方法 應募株數超過の場合は社長適宜決定す

第一回株金拂込額 壹株に付 金拾貳圓五拾錢

第一回株金及額面超過金拂込期日 大正八年八月廿三日ヨリ同三十日迄

株式申込證、印鑑用紙等は取扱所へ御申越被下度候

東京市麴町區有樂町一丁目一番地

東亞煙草株式會社 社長 菅野盛次郎

取扱所

東京 日本興業銀行 釜山 朝鮮銀行
同 日本橋支店 同 朝鮮殖產銀行
同 朝鮮銀行 同 第一銀行
同 第一銀行 京城 朝鮮銀行
同 第百銀行 同 朝鮮殖產銀行
同 村井銀行 同 第一銀行
大阪 日本興業銀行 平壤 朝鮮銀行
同 朝鮮銀行 同 朝鮮殖產銀行
同 第一銀行 元山 朝鮮銀行
同 第百銀行 同 朝鮮殖產銀行
大坂 村井銀行
同 藤本ビルブローカー銀行

東京現物團
日本橋區青物町 株式會社 山叶商會
日本橋區兜町三 合資會社 山一合資會社
日本橋區阪本町 合資會社 紅葉屋商會
日本橋區南茅場町 株式會社 角丸商會

▲今回臨時株主總會に於て業務取締役に馬詰次男當選せり

短期公債 五分利國庫債券募集廣告

今同大藏省令第二十一號ヲ以テ五分利國庫債券（ほ號）募集相成候ニ付御希望ノ向ハ當店ヘ應募御申込相成度候

一、募集金額 八千萬圓
二、發行價格 額面百圓ニ付九拾五圓貳拾五錢
三、利率 年五分（利廻六分四厘餘）
四、利子仕拂期 六月一日、十二月一日
五、初期利子 額面百圓ニ付壹圓五拾錢（大正八年十二月一日渡）
六、償還期 大正十貳年十二月一日迄
七、申込期間 七月廿一日ヨリ七月廿三日迄 但期日前ト雖モ便宜申込ニ應シ又申込期間中ニテモ時宜ニ依リ締切ル事アルヘシ
八、應募保證金 額面百圓ニ付五圓
九、拂込 第一期七月廿八日 五圓（保證金ヨリ振替） 第二期八月十六日 九拾圓貳拾五錢
一〇、拂込延滯日步 百圓ニ付四錢
一一、募入方法 應募超過ノ場合ハ適宜募入額ヲ定ム
一二、券面種類 貳拾五圓、五拾圓、百圓、五百圓、千圓、五千圓、壹萬圓

大正八年七月

日本銀行京城代理店 朝鮮銀行

測量手必携 實用測量術

東北帝大工專教授 小川工學士校閱 大谷保藏君著

本書は測量家が日常實地に當りて逢著すべき諸問題並に障碍等を究め迅速計算に懸ずべき公式及び表類を蒐集せる良著にして、所說的確行文亦平明、孰れも著者が實際の經驗と蘊蓄とを傾倒せるものなれば一般測量實務家の實地外業の羅針たるは勿論、是より測量の事に從はんとする人の好指鍼也。

博文館發行圖書總目錄 送呈

東京本町 株式會社 博文館

▲三六判 壹圓六拾錢 郵稅八錢

實驗 果物採收貯藏及荷造法

農商務省園藝試驗場技手 農學士 恩田鐵彌君 式地俊材君 共著

成熟せる果物は如何に採收し如何に貯藏し而して如何に輸送し如何に販賣せば斯業終局の目的を貫徹し得べきか、是れ當業者の最も苦心する處なり、本書は兩先生が十有餘年の經驗と東西各地の實績とに基きて如上の問題を極めて實際的に懇說し且多くの木版寫眞版を挿入して說明を補ふ、栽培業者●販賣業者の爲に無二の羅針にして斯界唯一の新燭光なり。 ▼大判特製 貳圓 郵稅十錢

Huntley & Palmers

BISCUITS ビスケツト

戰爭より平和へ

世界一の優良美味なるビスケツトとして有名なる弊社がハントレー、エンド パルマース會社製品は官命に依り其の大部分を戰時中戰場に在りし陸海軍人に對し極力供給しつゝありし結果一般御得意先に對しては兎角供給不足の狀態にありしも

一度平和の春風に浴すると同時に弊社は戰前と同じく從來、御得意に酬ひん爲め是が精製に全力を注ぎ再び海外の顧客各位に此優良美味なるビスケツトを供給し得るの幸機運に際會せり

願くは陸續御用命の榮を賜らんことを

英國ハントレー エンド パルマース會社

購買入札

大豆七百石外四點右購買ス詳細ハ本月十八日以後ノ本府官報ヲ見ヨ

朝鮮總督府

例年通發賣仕候御注文願上候 秋播種子全部品揃

秋蒔 大根 蕪菜 結球 白菜

朝鮮の種苗農具の元祖 京城府本町三丁目 京城勸農[illegible] 電話七〇四 振替京城五六番

購買廣告

一、異級 四百五十八個 右購買ス其後ノ朝鮮總督府官報ヲ見ラルヘシ

大正八年七月 光州監獄

最新刊

大阪朝日新聞社編 八年運動年鑑 定價五十錢

世界大戰以來

大阪屋號[illegible]

疲勞困憊の獨逸
注目すべき戰後の對外策

獨逸は曩に聯合國に講和條件を交付するに際して是れ獨逸の國家生命を破壞する死刑の宣言なりと呪咀し國民的元氣はその頂點に達したるが獨逸委員の調印を了し國民議會の條約批准を了れる今日獨逸人が聯合國民に對する態度及び感情は再び冷靜に復し人をして意想外の感を抱かしむるものあり此變化の原因は聯合國民に對して敵意を抱くの不利益を悟れるによれるが或は少くとも成るべく或は又獨逸國民の極端なる疲勞を物語るものならんも知名の某政論家は語つて曰く獨逸は疲れて又た憎惡をいふの勇氣なし獨逸戰後の對外策は或は佛國との親善恢復するの必要を說き或ひは親英的態度を取れるが一般的傾向の親米的なるは顯著なる事實なり(伯林電報)

勃講和委員招致

勃牙利講和委員は二十五日を以て巴里に招致さる可し(倫敦電報)

伊國首相聲明

伊國首相ニッチ氏は聲明して曰く政府の財政方針は奢侈品に特別稅を課し戰時利得稅を撤去するにあり(倫敦電報)

佛凱旋軍入城式

十四日巴里に於ける凱旋軍隊の入城式は偶々巴里の市街に見られざる一般的熱誠の最も著しき標示の一となりたり全市は凱旋したる勇士の一瞥を購ひ且つ彼等の誇りと歡喜に與らんとて犇き合ひたり兵士と群集との間には懇篤なる敬禮の交換行はれフォッシュ、ジョッフル、ペタン三元帥の出現は感謝と感激との全く名狀すべからざる標示たりしが三名の元帥は共に市民各階級に甚だしく感動を與へたり歡呼の聲は數時間連續したり(巴里電報)

カブラス號抑留さる

露國反過激派軍に供給すべき軍需品を搭載して倫敦を發し浦鹽へ向ふ途次伊太利ネープルスに入港せる汽船カブラス號は同地海員組合の手にて抑留せられたり(巴里電報)

支那の誤信を解かん
山東問題解決の爲特使派遣か

政府は對支政策の大體方針を定め排日學生團の中心人物と南方派首領との間に於ける我對支政策の誤解を除き山東問題の解決を爲さんとするものにて之が爲には山東還付の時機及び其條件を明示し又場合に依りては彼等の主張する軍事協約の破棄をも容れんとするもの、如く過日芳澤參事官の山東に急行せるは同地方の狀況を視察し併せて日本の意向を示し兩者の諒解を計らんが爲めにて其結果或は特使を派遣するに至るやも知れずと傳へらる(東京電報)

吉林軍用金調達
中國、交通より各百萬元宛

吉林軍は軍用金として長春中國交通の二銀行に對し六百萬元の支出を迫りたるが右兩銀行にては國際借款關係及び塩稅金等混入し居るを理由として之を拒絕せしも妥協の結果各百萬元宛提供の事に決したりと尚十五日城內正金銀行は塩稅金として兩銀行より四十萬圓宛を受取り之を附屬地分店に納めたり

元宗社黨系糾合計畫

孟氏側にては元の宗社黨系の首等を集めんとて各地に人を派遣し頻りに運動しつゝありとの說あり

仇敵張巡閲使

先年貴父金壽山を殺され常に仇敵として張氏を狙ふ金鼎臣及び馬賊頭目二十餘名は十五日來長附屬地支那人旅館其他に宿泊中なるが右は孟氏の招きにより孟軍の爲め畫策を行はんとするらしと如し

期米大波瀾

下關期米特電

大阪株式
至急電報

十七日後場大引

同新 一三五、〇〇 二、〇〇高
鐘紡 三八二、九〇 四、〇〇高
新? 三六三、二〇 六、六〇高
東? 二六二、五〇 三、〇〇安

宮等(四名)難波盛教次、紀富孤郁、久松將四郎、外人一名、試等(六拾七名)村正嗣、出射俊三郎、上杉凡雄、松尾吾吉、羽さみ、同歳夫、松重宅、田中清一郎、同道子、三浦そよ、西原金藏、山口しん子、谷本哉、高島ひさ、同あき子、同なつ子、同秀夫、佐藤鶴太郎、岩田金次郎、金萬守、中坂徳太郎、島

高峻峰中佐等來長

前敵司令官として南嶺に在る高峻峰中佐は過日吉林に赴き十六日午後一時半第二旅長高鳳城氏と共に來長附屬地より城內に向ひたるが警戒特に嚴重を極めたり

長春住民附屬地避難

長春城內は表面尚靜穩の模樣なるも奉天軍出動の報と共に附屬地に物品を携へ避難する者益々多きを加ふ(長春特電)

兩軍將に戰端開始

長春十五日發電報＝吉林兵一營は十五日午後寬城子に著せり農安(吉林)の前面には奉天軍の主力あり先鋒は長春の北百支里の地に迫り兩軍將に戰端を開かんとす(下關特電)

我調停猶豫期

張孟兩督軍の確執問題に關し某軍事通の談に據れば孟督軍の兵力は一師團混成旅團にして張督軍側の兵力は三師團三旅團及び鮑督軍は一師團と二旅團なるを以て兵力上著しく差異あり到底比較すべきにあらざるも孟督軍側の集中容易なるに比し張督軍側は兵力離散しあるを以て集中困難なるものあるも而も孟軍旗の戰意あり否や頗る疑はしく恐らく兩軍とも日本の仲裁を豫想し各自日本が己に好意を表するものと臆斷し事件を誇大するものにあらざるやと思惟せらる尚我國に於ても鐵道線附近にて戰鬪を起するにおいては甚大の戰禍を蒙る べきを以て一考を要することゝなるべし(東京電報)

梨本宮炭坑御見學

十七日午前八時五十分著列車にて梨本師團長宮殿下には炭坑御見學の爲め撫順御著、驛には提坑各員官民有志其他在鄕軍人團生等又一般市民は沿道に堵列して奉迎せり殿下には自動車にて米倉坑長舍宅に御少憩十時半宮にて東鄕炭坑近往復御見學、殿下には熱心に御質問あり正午再び坑長社宅にて御晝食を召され午後一時自動車にて大山坑モンド瓦斯工場等御見學遊ばされ三時發列車にて御歸還遊ばされたり(撫順特電)

丁士源哈市行

北京政府よりオムスクに派遣せらる可き丁士源以下十五名の一行は十五日夜長春通過哈爾賓に向へり(長春特電)

板垣伯葬儀は政友會黨葬
葬儀委員決定

板垣伯の葬儀は多分二十日午前十時芝青松寺に於て佛式に依り政友會黨葬を以て行はるべく葬儀委員長原首相、副委員長野田遞相に決定せり(東京電報)

議員團消息

十六日馬尼拉發電＝日本議員觀察團一行は十六日午後馬尼拉發ボルネオ(馬來群島中の一大島)に向ひたり(東京電報)

倫敦銅相場狂騰

砂糖持合製粉七十錢下げとなる(下關特電)

露政府の財政
漸次恢復に向ふ

オムスク政府大藏省調査に依れば過激派失敗の結果國家信用機關の所有金十億一千百萬留、金塊百六十七布度、銀塊五百布度、は掠奪され政府は非常なる財政上の困難に陷りたるも漸次恢復好調に赴きつゝあり

現在金額 國家信用機關卽ち國立銀行其他の現在金は累進的に增加せり卽ち左の如し

一九一九年一月一日 二億三千萬留
同二月一日 二億四千百萬留
同三月一日 十億九千七百九十萬留
同四月一日 十四億六千八百廿萬留
同五月一日 廿二億三千七百廿萬留

なり今や過去の如く動搖を見ず利付常座預金も一九一八年七月に比し約五倍となり一九一九年五月十日の現在にて二億五千萬留となれり私設金融機關も漸次發達し一九一九年五月十日現在にて預金五億五千二百四十萬留を許し居れり

國家經費 國家復興並に國防に支出せる經費は累進的に增加し居れり卽ち一九一八年七月は一億四千四百萬留、同八月一億五千七百萬留、同十月は四億二千七百萬留、一九一九年二月は五億二千五百萬留にて今後當分は每月約五億六千七百萬留を要す可く內二億一千九百五十萬留は經常費三億四千七百五十萬留は臨時費なり臨時費中主なる支出豫定額は陸軍省費一億五千萬留、供給省費一億留、糧食省費五千萬留等にて經常費にては交通省費の一億留最も注目すべし猶三月一日現在の貸出額は地方自治團體三千三百二十四萬四千留、礦業金融業十一億二千四百三十八萬二千留、鐵道事業六千七百八十一萬四千留、私立商業銀行一億一千萬留、計二億三千五百三十四萬留なり

收入狀態 直接稅一九一八年七月には九十二萬九千留なりしに一九一八年三月は一千三百四十二萬七千百十二留となり消費稅收入は一九一八年九月は二百九十三萬七千留なりしに一九一九年三月は一千五百八萬六千留となれりウオッカ酒精專賣收入は本年三月は二千八百廿萬一千留に達し關稅收入は本年四月一千五百五十六萬留となれり鐵道收入は本年一月は二千四百九十一萬六千留 二月二千八百四十六萬六千留 三月二千九百六十萬五千留にして益々增加の傾向あり尚以上收入にて不足する分は國庫證券を發行して補充し五月現在にて四十八億九千五百二十八萬九千留に達せり

將來財政 鐵道改良國庫の爲め巨額の借款を必要とし是等は聯合國亦其意志なきに非ざるも實行時期に就ては豫知し能はず又一方オムスク政府は幣制統一の目的にて兌換券四十餘億を發行しケレンスキー紙幣過激派及び舊帝政時代の紙幣を回收しつゝあるがケレンスキーの二十留 四十留 の分は全部回收し近く百留、一千留の回收を開始すべしと

米國解金事情

米國政府が曩に實行せる金輸出特許緩和策に次いで今回更に殆んど全部の解禁に決定せることは既報の如くなるが右趣旨を聞くに大體解禁せるに相違なきもなほ一部の地方に對しては條件を附し卽ち

過激思想の浸潤せる墨國方及び丁抹、波蘭、芬蘭等の米國を通ずるの外爲替の取組は依然特許制度を採り聯邦準備局の認可を經て輸出し得る事に改定せる模樣也而して米國が率先此解禁を斷行する所以のものを察するに矢張り豫て噂されたる如く倫敦に代り紐育をして世界の中心金融市場たらしめんとするか左無くば紐育の世界金融市場に於ける地位をして向上せしめんとするの政策を實行するにあるや蓋し疑ふべからざる所なれども亦一面より見れば金

輸出禁止の爲對外爲替が多く米國に不利となり之を放任せんか其弊害愈々救ふべからざるに至るべき當面の急に迫られたるためとも解せられざるにあらず要に角も既に米國にして解禁の擧に出でたる以上英國としても倫敦の地位を保護するため近く或は解禁するや測り難けれど何樣英國政府は對米爲替調節の廢止後間もなき折柄に鑑みれば果して如何にや而して米國の解禁を幸ひ本邦として在米正貨の吸收を講ずべきやといふに斯ては兌換券の

限外發行を增加せしむると共に日本銀行は折角米國に保有して利殖を圖り來れる便宜を失ふ結果を顧知すべきを以て遽に輸入し難からんと因に本邦の解禁は假令米國に次いで英國が之れを試むるも當分之を斷行せざる方針なりと(東京)

組閣行惱原因
軍閥派依然

大總統令を見るに支那の國際關係にたける孤立及び列國の輿論を云し居り漸次追調印をなすに至るならんかと解せらるゝも未だ政府としての方針を確定するに至らず暫く成行を觀望せんとするの形勢なり畢竟內閣問題も決定せず國內の輿論の反對にも鑑みて未だ追調印に決定するに至らざるものと觀測さる然れども獨逸の講和條約の批准も濟み英、佛、伊批准の期も切迫し居れば何時迄も遲延し能はざる事情あるは勿論なり

三勢力對立 目下北京政界には段派の安福俱樂部、錢能訓及び新國會議員を中心とし安福俱樂部に對抗して六月錢能訓組閣後組織されたる乙未俱樂部及び軍閥に反抗せんとする熊希齡、馮國璋、梁士詒等の團體にて未だ政黨としての組織を完了せざるも世間に於て中央黨と稱し居るもの以上三者鼎立の形勢にして內閣問題が行惱みの狀態にあるも亦之等の事情に依るものなり

內閣と和平 卽ち徐總統は周樹模內閣を成立せしめんとするも安福俱樂部は周內閣を以て純然たる徐總統系に過ぎ自派に不利なりとし田文烈內閣を主張して漸次軍閥の勢力を挽回し追つては段派內閣を出現せしめんとするの意あり南北和平も亦從つて要領を得ず只決裂せざるに過ぎざる消極的狀態にあり一向進捗を見ざるは安福派の南北和平促進に反對するに依ることならん

東津江平野の水利計畫
灌漑一萬町步
三四百萬圓を要す

全羅北道東津江平野の水利事業は蒙利面積一萬町步を超ゆる大事業として一般の注目を惹き居れるが全羅北道廳にては一昨年來斡旋盡力を續けたる古阜水利組合の事業完成したるに就き東津江平野の水利に力を注ぐこととなり過般大久保第一部長入城して關係方面とも打合せをなし特に東拓支店を訪ふてその實行的調査に對する盡力を求めたるものゝ如くその結果土木課長關屋忠正氏は月末までに全北に出張する由なるが右水利事業の概略設計は既に出來し居り過般來鮮したる上野農學博士も該計畫に就て實地を踏査し贊意を表したる由にて今回關屋氏の出張は計畫の實行に一步を進むるものと見得べし而して該計畫によれば水源地は任實郡に求め蟾津江に

大堤堰を築いて大湖の如き貯水池を設け數十億立方呎の貯水をなすべくその幹線水路は延長約三十里を超ゆる大計畫なり而して工費は物價勞銀高の今日とて少くも三百萬圓以上を必要とすべきが水利事業の有利並にその施設の缺くべからざる事は地主の間に諒解され且つ同水利蒙利區域の大地主たる東拓不二興業石川家農場阿部農場熊本農場の各主腦者は何れも贊意を表しつゝあるにつき事業の成立は可能なるべし唯計畫規模大にして利害の及ぶ所汎く且つ深きにつき實行案の作成より着手までには尚多くの時日と曲折を經べく從つて計畫

九年中に完成し工事を十年に入りて開始する事とならば先づ順調の進行ならんかと云ふ

滿鐵社長訓示

滿鐵の職制改正實施は夕刊所報の如くなるが右發表と同時に野村滿鐵社長は左の如き訓示を與へたり

今次會社職制に多少の變更を加へ本日を以て之を發表せり是れ一に時勢の推移と會社業務の發展とに鑑み事務の繁閑に應じて勞逸相濟ひ適材を適處に配して其の功率を進め以て會社の事業をして益々健實なる發達を遂げしめむとする趣旨に外ならず然りと雖も制度の如何は抑も末なり此大本は實に在りて存す本會社の重大なる使命を達成せむとするには一に諸君の同心協力に待たざるべからず本職は茲に諸君が益々眞摯事に膺りて熱心職務を勵み至誠一貫以て報効の實を擧ぐるに努められむ事を切望す若夫れ爾今一層信賞必罰を勵行し社員諸君の待遇の改善を圖るに就ては本職私かに遺算なからむことを期す

滿鐵職員異動

職制改正に伴なふ職員の異動は略夕刊所報の如きが二三脫漏並に誤謬あり左に重複の點もあれど掲載す

地方部長 中川理事
總務部調査課長 石川鐵雄
運輸部運轉課長 武村清
興業部販賣課長 山田潤二
同 庶務課長 城崎祥藏
地方部庶務課長 山西恒助
同 勸業課長 大淵三樹
同 圖書館長 唯根伊與
築港事務所長 山路魁太郎

右と抵觸せる夕刊の大連電報は取消す

京管局掌理

京城管理局の掌理事務は如左

京城管理局は運輸部の管理に屬し左の事務を掌理す
一、朝鮮線の營業及其附帶事業の經營に關する事項
二、朝鮮に於ける鐵道の建設改良及保存に關する事項

東亞煙草增資
公募一萬四千株

東亞煙草會社にてはその營業地域なる支那朝鮮西伯利に於ける事業擴張のため今回三百萬圓の資本金を一千萬圓に增加する事となり附加新株一萬四千株を左の要項により公募に附する事となれり尚ほ朝鮮に於ける取扱銀行は釜山京城平壤元山に於ける鮮銀殖銀第一銀行なり

△公募株金額金七十萬圓壹萬四千株(一株額面金五拾圓) △申込價額一株につき額面超過金十五圓以上(單位十錢) △申込株數 十株單位(十位未滿の端數を付せず) △申込證據金一株に付金二圓五十錢(第一回株金拂込に振替) △申込期間大正八年七月二十三日より同二十六日迄郵便に依る申込は申込最終日の營業時間內に到著したるものに限る △募入決定方法 應募株數超過の場合は社長適宜決定す △第一回株金拂込額一株に付金十二圓五十錢 △第一回株金及額面超過金拂込期日大正八年八月二十三日より同三十日迄

東亞新重役
馬詰氏當選

東亞煙草株式會社朝鮮總支配人馬詰次男氏は十七日東京に於る株主總會にて常務取締役に當選せる旨東亞京城支店に入電有たり

陞敍

今回左の通り陞敍辭令ありたり

朝鮮總督府判事 石川正
高等官二等
同遞信副事務官 遠藤達
同平壤鑛業所技師 吉川岩喜
同道慈惠醫院長 氏家參顯
高等官三等
同遞信副事務官 八木辰馬
同 事務官 川鍋鐵馬
同 府尹 橋本豐太郎
同 技師 今野清
同 事務官 矢島音次
同 事務官 和田駿
同醫院醫官兼京城醫學專門學校教授 渡邊晉
同醫院醫官兼京城醫學專門學校教授 久慈直太郎
同醫院醫官兼京城醫學專門學校教授 早野龍三
同總督府秘書官兼朝鮮總督府參事官 遠藤柳作
高等官四等
同編修官兼朝鮮總督府京城醫學專門學校教授 小倉進平
任朝鮮總督府編修官
高等官五等
同高等土地調査委員會事務官兼事務官 平山正祥
同 事務官 立石種一
同 道事務官 大庭米三郎
同 道慈惠醫院長 內田磯
同 港務官 吉村直二郎
同 道技師 津村哲四郎
同 道事務官 橫井二郎
同勸業模範場技師 三原新三
同 道事務官 山崎員雄
同 事務官 本岡榮次郎
同 同 井上主計
同 同 林茂樹
同 道事務官 小松淺五郎
同 技師 池邊稻生
高等官五等
同遞信事務官補 市橋力
任朝鮮總督府遞信副事務官
高等官五等
同 判事 津守萬吉
同 判事 寺川三藏
同 判事 大宅伊俊
高等官三等
同 檢事 上谷榮太郎
同 判事 深田留治
同 檢事 森雅太郎
同 檢事 河村鄰水
高等官四等
同 判事 末廣清吉
同 判事 西村茂夫
同 判事 渡邊仁平
同 判事 神保信雄
同 檢事 栗山兼吉
同 判事 松下直英
同 判事 森竹藏
同 判事 前田英一
同 郡守 蔡洙康
同 郡守 申昌休
同 郡守 李寅奎
同 郡守 李承七
同 郡守 徐廷岳
同 郡守 沈能益
同 郡守 林潤相
同 郡守 朴喆熙
同 郡守 朱榮煥
高等官五等

警察官異動

十一日附を以て警察官職員に左記異動ありたり

新任地	官名	氏名
永同署勤務	新任警部	金龜培
光州署勤務	同	朴英雨
莞島署勤務	同	文鎭庠
木浦署勤務	同	李宗洙
釜山署勤務	同	李圭榮
清津署勤務	同	朴鑽春
廣梁灣署勤務	同	金濟鉉
昌寧署勤務	同	崔永根

人事消息

▲大須賀藤藏氏(島根縣技師) 十七日夜入城京城ホテルへ
▲菊地謙讓氏▲久保田敬三氏 十七日夜退城
▲今村總督府通譯官 夫人令息同伴十八日午前十時三週間の豫定にて東上
▲本木房吉氏(辯護士) 十七日朝釜山へ

烏瞰錄

逝去した板垣伯の華族一代論は有名なものであつたが愈々實行する積りで遺言迄したらしい▲此論實行さるゝのであらうが日本の華族で立派な相續者があるに拘らず斷然一代華族を敢行したのは伯を以て先づ嚆矢とするのであらう▲伯が長孫守正君に相續を遺言した事に就ては何故に嫡子の鉾太郎君に相續させなかつたかと疑問を起す人もあらうが▲守正君は却々の才物で伯は非常に愛して居た▲而して板垣家は一人傑出した者が出るとこ一人は凡人が出ると云ふ順序であるさうだから伯から一さつ飛んだ愛孫は傑出して居る必ず祖父の名を辱しめぬ人物になるだらうと或る人は語つて居た▲板垣伯は文字を書かなかつた事が有名で大隈侯と共に天下に其筆蹟が殘つて居ない若しあつたらそれは必ず代筆かニセものである實に絕無と云つても差支へはない▲處が後にも先にもたつた一つある其れには又面白い話がある▲伯が自由を天下に呼號して居る時分の事土佐から多くの壯士をひきつれて上京せんとした時金が無かつた▲處で伯と豪傑等は某豪商の處へ借金を申込んだ金高は何でも當時の三四千圓だつたと思つてるが今日にして見ると大分の金だ▲處が豪商の主人公は却々の通人で斯う云ふ時に書かせて置かぬと手に入らんと云ふので早速申込の金高は承知したが何か伯の借用證書一枚をと申込んだ▲で流石の豪傑連大いに閉口したが致方なく伯に告げると伯も之には閉口した▲而し金が必要だから何うしても借らねばならぬ其處で伯は澁々乍ら卷紙の上に『死生亦大矣無形』と號落認めて之で御免を蒙ると申しやつた▲主人公我事なれりと大喜びで早速申込の金額を提供した後で金を揃へて其の文字の返還を迫つたけれど主人公は何としても放さなかつた其れは今に同家にある筈だ▲伯自身は非常に下手だと云つて居たが何うして筆法悉く法にかなつて書風は堂に入つて居る立派な書家の字を見る樣だ▲伯が字を書かなかつたのは一種の癖であつたらしい(と之も某氏の談)

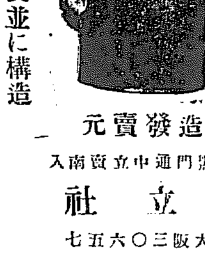
世界少年
八月號
記者讀者誌上世界探檢旅行記
寫眞小說(二題) ◆絕島健兒(加藤朝鳥) ◆家なき兒(佐藤濱葉) ◆出奔の後(水野葉舟) ◆本多忠勝(武田鶯塘) ◆探偵小說
大懸賞募集 この際申込者に一大特典あり
新光社

鐵筋コンクリート應用谷田式金庫
鋼鐵より強力なる
岩石よりも堅牢
谷田式金庫は
他のあらゆる金庫よりも
價格最も低廉なり
(型錄進呈)

京城本町三丁目 松若商會 電話一四九三

國產クレバネット レインコート
◎型は最新流行ラグラン型、肩巾も袖丈けも萬人向き

雨の日のビッショ濡れ
風の日の塵埃だらけ
平和の克復が現在世界の不安を一掃したるが如く、我が提供する雨の日、風の日に於ける總ての不快を一掃すべき、クレバネットの世界を思へ。
クレバネット、レインコート又は防水國產羅紗マントを着用せざる雨の日風の日の不快を思へ、
晴雨兼用 寸法曲尺 三尺五寸 十八圓 三尺八寸 二十圓 送料內地二十七錢 鮮土五十五錢
地質見本無代進呈
國產防水羅紗マント
前金不用ハガキの申込は代金引替で送る代引替一個十錢增の事
地質見本無代進呈す 色は鼠降ミ茶褐の二種、寸法全部曲尺
マント特價表 送料內地卅六錢 鮮土六十五錢
東京市本鄕元富士町 中西商店 振替東京 電話小石川

●理想的速冷器現はる!
如何にせば簡便に冷きビールを飲み得るか
曰く專賣特許速冷器あるのみ!!
正價壹個 金五圓八十錢
專賣特許第二七七六八號
速冷器

◇本器の特長並に構造
一本器は冷藏庫の如き長時間を要せず僅に三分間にて冷却す故に必要に應じ僅に百匁の氷にてビール其他サイダー、コーヒ、牛乳茶、麥湯、清酒、煮出汁、水藥等速座に冷却す
一本器は金屬製にして外觀優美高尚且堅牢にして永久品なり
●各地に特約販賣店を募集す希望者は至急申込みあれ
製造發賣元 京都市黑門通中立賣南入 明立社 振替大阪三〇六五七
朝鮮一手販賣元 大邱府鍋町壹丁目 明立社出張所 電話五四番

小學生體育問題
何んでも採用せよ
自覺を起させる事も必要
アルファー生

體育には體を鍛へ強くすることゝいふ積極的方面と體を弱くする原因を除去しようとする消極的方面とがあつて兩方面は決して離すべからざる密接の關係を有して居る即ち體育は單に體操（廣く遊戯や競技を含む）のみによつてはその目的を達する事は困難である。勿論體操は身體各部の均齊的發育を目的として四肢の動作を機敏ならしめ全身の健康を保護增進せしむると同時に精神を快活剛毅ならしめ或は規律を守り協同を尙ぶ習慣を養ふ等の効果があるが多くもない時間と制限して劃一的に行はる、體操に對して體育完成の全責任を負はしめんとするのは不當であると言はねばならぬ、即ちその體育の爲めには時間と場所に關係なしに不斷に良好な指導が與へられなければならぬ從つて體育上適當な手段方法は何でも採用せられねばならないが時に其の體育の目的を無視した有害無益の手段方法を採擇する樣な事もあるから注意すべきである。吾人は更に兒童體育の振興に關聯して結核豫防等といふ事も重要な衞生的施設の完成を望むと同時に兒童をして可成的自然に觸れしめん事を主張する。自然は實に人類の母である人類は自然から如何程多くの恩惠を享けてゐるか解らない程である而して吾等の健康も自然の力によつて健全に保たれる場合が多い或學者は青色は壯者の發育を助長し赤色は幼者の發育を助長すると言つてゐる自然の一少部である色彩をとつて見てもそこに深い關係が在る況んや無限に存在する自然界の對象に於てをやである、赫々たる日輪、銀の月、眞珠の星、清明なる空、爽かなる微風、鬱蒼たる綠葉、芳馥なる花、潺々として流るゝ泉、……等を忘れてはならぬ、實際吾等の健康は自然を離れて完全に保持する事は出來ない此點から考へて見ても適宜の時間を選んで兒童を樹陰に移して自然の中に於て教授する樣な事も兒童の體育上好ましい事であると思はれる更に體育の振興上極めて必要な事は兒童に一つの自覺を起さしむる事である。その自覺は兒童各自體育の振興によつて健康を增進せしむる事は唯自己の健康を增進せしむるといふ單純な目的ばかりではなく各自が身[illegible]圓滿なる人に向上させて行く上に必要な事であるといふ自覺である。終りに臨んで一言したい事は我等日本人は御互に健忘症的傾向をもつてゐるが此の體育の問題は一時の流行的見地から見ずに一つの國民勢力の消長から打算して冷靜に周到に而して倦まずに忘れずに考究して行きたいといふ事である

新に生れた春の展覽會
若い洋畫家が新畫會を起す

秋には文展と二科、美術院等色々の繪畫展覽會が開かれるが春は秋程有力な展覽會が開かれぬそこで新進氣鋭の洋畫家連が集つて今回新光洋畫會と云ふ一團體を組織して年一回春上野か其他の場所で展覽會を開催すると云ふ作品は總て會員の努力の新作品のみに限り別に鑑査をなさず會員外の出品は一切許さず新會員は全員三分の二以上の承認を得てから入會を許し青年實業家田鍋一二氏が會計其他の責任を引受ける事となつた會員の顔觸れは左の如し（東京）

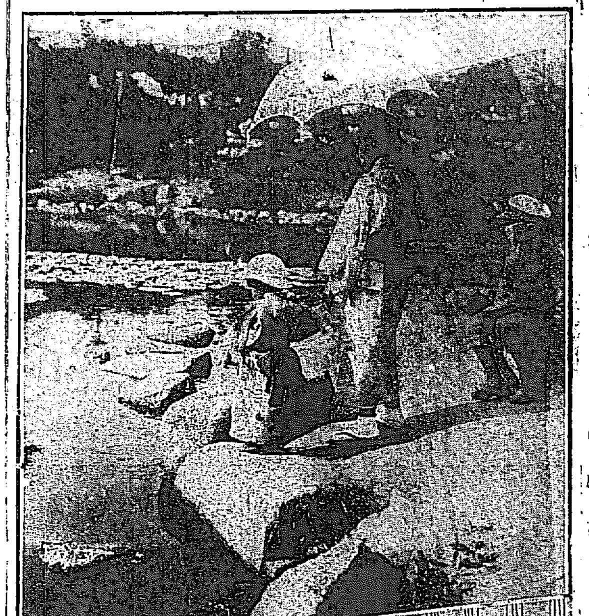
安宅安五郎　片多德郎　金澤重治　齋藤種男　松岡正雄　三上知治　清水良雄　高間惣七　柚木久太　熊岡美彦　小寺健吉　牧野虎雄　松村菊麿　大久保作次郎　大野隆德　鈴木良治　田邊至　吉村芳松

巡査三千盟休說
約束が違ふこの理由で

警視廳にては三千名の巡査を募集せしが收入五十圓の契約を履行せざる爲同盟罷業を決行せんとしつゝありと（東京電報）

骨の折れる敵財管理
犬や猫まで引取れるか　道當局頭を痛める

我國に於ける獨逸人の私有財產は屢報の通り政府に於て管理する事となり朝鮮に於けるそれは各道長官が管理の任に當る筈で京畿道を始め各道では彼等の財產が果して如何程現存して居るかを調査中である過般勅令を以て發布された特殊財產管理令の規定に依れば當該官吏は財產所有者又は保管者に向つて財產の所在、種類數量、價格又は權利狀態の申告を命じ得る事に成つて居るが假令申告を命じたとて彼等が素直に『私の財產は是だけで御座います』と直に申告しさうにも思はれない乃で何うしても道廳や府郡では直接官吏を財產所在地に派遣し本人立ち會の上調査して臺帳を作らねばならぬことになる。不動產の管理は兎に角として動產を道廳が管理することになると生活上の必需品は別として馬も居れば犬も居る現に聖芬酒會の如きは朝鮮、日本、支那米國等各國の蜜蜂を大事に飼うて居る。是等の者まで引き取ることになると隨分厄介なことである同會の某氏は笑ひながら『日本政府は我々の財產を管理するなら此の蜜蜂も押へるだらうが、其の數を調べる時に當つてあの蜜蜂の奴が默つて調べらる、とは思はれない。乾度お役人に向つて突進するであらうから、お役人は螫されて腫れた痕でも數へて蜜蜂の數を知つたがよからう』と語つて居つた素より笑談ではあるが一面に於て彼等の感情を語るものと云はねばならぬ。勅令では財產の管理を免れむが爲め財產の隱匿や毀棄を企て爲した場合には三年以下の懲役又は五百圓以下の罰金に處し、命ぜられたる申告を爲さず又は虛僞の申告を爲したる者には三月以下の懲役若しくは百圓以下の罰金に處すとの明文はあるがこれが實際の管理をするには隨分骨の折れることで京畿道を始め各道の係りでは大分頭を捻つて居るさうだ。



蓮池（昌慶苑）

米七雜三主義
食料研究會の宣言　徹底的に奬勵する

農學博士稻垣乙丙氏を主唱者とする糧食研究會は今回愈々林博太郎伯を會長に前田利定子を副會長に澁澤男、加藤高明子、山本農相、田尻市長、土岐子、志村勸銀總裁、道家局長、服部金太郎、森下博、鎌田榮吉、岩崎清七、町田、松波、矢作、三宅鑛諸博士等百數名を會員とし稻垣博士幹事長となり十三日その宣言書を發表した稻垣博士の說明に依ると米は主食より混食主義へ移るべきで日本人は明治六年頃には一年一人の米消費平均四斗六升であつたのが昨年は一石三斗になつてゐる、つまり以前は日本人が混食してゐたからであつた、日本の米產額で全國民の七割は養はれ外米と移入米で一割は補はれる、だから『米七雜三主義』を確定して馬鈴薯や麥等の雜穀を三割食れば日本も當分米價騰貴の怨聲を聞かぬでもよいと言ふにある、その方法として左の條々を擧げてゐる

▼一日一度米無しにし雜食をする事
▼澱粉を外米其他に混食して食すれば美味なる事
▼麥豆類を從來通り挽割壓潰にして米と混用する事
▼パン食の習慣を養ふ事
▼米は半搗米が營養上最も體に適し炊き方にて美味なる事
▼米を節する爲大酒を節し宴會の獻酒を全廢する事

等で右の主義の爲會員は全國に講演普及し試食會をして徹底的宣傳することの事であつた

龍山の借家難
依然として空家拂底

龍山に於ける貸家拂底の聲は久しいものであるが此の程其の筋で調査した拂底の原因なるものを聞くに近年建築用の諸材料及び勞銀著しく騰貴し貸家主は此際貸家を新に建築したところで芳ばしい利益を見る能はざる爲め一般に手控へ勝ちなのと一方茲數年間に民間側の諸事業勃興し軍隊兵營新設並びに滿鐵會社の改良工事社宅增築其他一般の企業盛んになるにつれ勞働者は次第に需用多く爲めに來往するもの多きを加へつゝあるのと殊に近京城市内に於ける道路擴張工事、南大門驛改築工事等の爲め立退きを請求されたのが龍山に流入むのと又龍山は京城に比し家賃約一割乃至二割方安き爲官公吏會社員にして龍山に住宅を求むるもの多いからである近年諸物價騰貴の爲是を名として貸家料の値上を斷行するもの多く中には借家人に對し値上を爲し得ざる事情ある家主は他に賣却し是等の貸家にあつては從來の家賃に對し二割乃至四割を値上げしてゐる貸家は上中下を通じて拂底し就中八圓以下のもの多く是は總數の約七割を占め八圓以下[illegible]五分の割合であるさうだから此八圓程度の長屋を新築したら忽ち塞がるだらうと密に計畫してゐる者もあるさうだ

海水浴と中耳炎
二重に綿を詰めること　耳の洗滌と考へ物

健全な耳であれば赤坊でない限り少々海水が入つても大丈夫です、併し一度中耳炎に罹つて鼓膜に穴の開いてる陳舊性の者即ち片方は聞ねて片方は聞けないと云ふ人は注意を怠ると中耳炎が再發しります、更に外聽道炎と云つて鼓膜でなく外の皮膚が海水の刺戟で爛れたり濕疹になつたり致します、又耳垢が固まつてゐる耳垢栓塞の人も今迄幾分か耳穴と耳垢とに隙の出來てゐたものが急に海水など入ると垢が濕つて膨脹む爲めに物音が聞き難くなります、此三つの中もありません此三つの豫防法としては海水浴をする前に綿を二重に耳に詰めて置くのが最も安全で中耳炎は耳の周圍を水で冷やし小枝に脫脂綿を絡んで耳漏を拭き取る位にし普通の醫者に罹つて耳を洗滌して貰ふ事は絕對に不可ません專門家が最も治療に困難を感ずるのは何もならずに耳を洗つて貰つた患者だと云ふ事です、重症に陷つたり中耳炎の症狀は第一に痛み、第二に化膿性の耳漏が出ます第三は聞き難くなり第四に熱が出ます、而して中耳炎に罹ると何となく不愉快です、次に外聽道炎といふのは普通痛みが強く少し耳が遠くなり熱は出ない、丁寧栓塞は垢が固まつてゐるから耳が充塞た感じがして聞き難く時々強く痛むが熱も無く耳漏は出ない

幽靈鑛で詐欺
マンマと二百五十圓

原籍三重縣南牟婁郡神志村生れの立島奈良一（三七）は去五月廿二日大邱元町高島旅館に大阪市北區福島生れの星野茂男（二七）と詐稱して投宿し二十四日夜龍山に赴き松浦德太郎方に赴き自分の友人なる星野が一萬五百圓にて鑛山を買ひ山本といふ工學士に鑑定を乞ひたる其報酬として支拂ふべき二百五十圓の金に窮し居れるを以て自分に立替見れよとの事なるが自分も都合あしければ前記の一萬五百圓の鑛山を擔保として二百五十圓を貸與せられたしと山本より星野に宛てたる僞造の手紙を示して二百五十圓を詐取したる事發覺し大邱地方法院の公判に附せられたり（大邱）

召集近し　簡閱點呼
應召者は何麼心得が必要か

第二十師團管下簡閱點呼は目下準備中にて遠からず召集せらるゝが右に付き第二十師團司令部勤務部附歩兵大尉は語る『演習點呼は戰爭の豫習であるから令狀を受けたものは皆勇んで應召せねばならぬ筈であるが僅な事故を幸ひとして應召しない者があるのは甚だ遺憾である是等は全く軍人の本分を沒却したものと云つて良い又簡閱點呼に參會するもので自分の不注意から大切な軍隊手牒を忘れたり又は不用の物を携帶したりするのもあるから一般の注意を心得の爲列擧すれば軍隊手牒（未教育補充兵は持合せあれば補充兵證書）と令狀とは缺く可からざるものである之に反し當日雨天の外傘だとか外套だとかステッキ等は全く不用である、又點呼の時には勅諭の奉讀があるから敬意を缺かぬ服裝であらねばならぬ夫は軍服か至極宜しいが若し持合さぬ人は羽織袴なら申分が無い然し羽織袴で無ければならぬと云ふ規定はないから無理算段をして新調したり借着迄する必要は斷じて無い又和服の華美は禁物である次に勳章記章は成る可く佩用するが良く但し是は軍服と燕尾服又は羽織袴着用の時に限る、點呼場附近に居住しない者は成る可く辨當を携帶するが良い在郷軍人會の徽章は必ず佩用の事、佩用の位置は右胸部『カクシ』の上方和服の時は羽織の『胸』返しの邊とする、履物は靴が最も良いが草履でも構はぬ輕裝を必要とする以上木履高下駄は不便である事は云ふ迄もない、點呼場に集合するには示された時間に一分たりとも遲れてはいけない時計は郵便局又は停車場の物を基準とすれば間違ひは無い若し正當の事由なくして參會せざる者は拘留又は科料に處せられるから簡閱點呼參會者はくれぐも注意を要する

記錄破りの海底電話線
津輕海峽に敷設

遞信省にては工費參萬二百萬圓にて東京、函館間の電話を來年度内に完成すべく昨今羅州丸にて津輕海峽の海底線敷設路の調査をなしつゝあるがこの海底線敷設距離は最も近き地點にても四十哩以上あり世界一と稱せらる、英佛海峽の海底線さへ廿四

軍人後援會
趣旨書改まる

伏見宮貞愛親王殿下を總裁に仰ぎ大隈侯を會長とせる帝國軍人後援會にては從來の趣旨に缺陷あるを認め七月一日を以て更に左の如く趣旨を改めたり

軍人をして後顧の憂無く一旦緩急有るときは義勇公に奉ずることを得しむるを以て本會の目的と爲す國家は一日も軍備無かるべからず國際聯盟成立すとも是が爲に國防の必要は輕減せられざるのみならず世界の大勢は國民皆兵に向つて進みつゝあれば我國も亦之に順應するの大計無かるべからず然らば本會の使命は之が爲に却て益々加重すべし我國民が戰時に於て軍人の後援に吝まざるは過去の實例之を證明して然れども一たび平和の時に逢へば同情の念漸く冷卻し軍人の遺族廢兵並に現役兵の家族にして窮乏に泣く者有るも力之が救護に用ひず若し軍人の血税に酬ゆるの道を以て恬然顧みざるに至らん乎是れ我人をして有事の日に臨んで甘んじて死地に就かしむる所以の道ならむや彼徵兵を忌避する念の如き亦或は職を此に發せずんばあらず古語に曰はずや恒產無ければ恒心無しと此不健全なる思想は實に民の恒心を奪ひ不健全なるものにあらずや是れ本會が國家百年の長計の爲に深憂を懷く所也我邦固より軍事救護法の在る有り然れども法の力は萬能ならざるを以て本會は能く其の不備を補ひ平時に於ける救護の任務を全うし且資財を蓄積して以て國家總動員の急に應ぜむとす荀くも民として恒心あらしむる國民皆兵の眞精神を發揮し外來思想の惡潮流を防止し益々風を涵養することを期す。欲せば本會は彼帝國在郷軍人と提携して彌々事業の擴張を謀らざるべからず是れ軍人の後援たると同時に社會政策民力涵養にも亦利する所あらざるべし

噂に上る列車通學
風紀上の一問題　學校側は如何見て居る

京城學生界の風紀問題が云爲されて居る此頃列車通學の學生が列車中で風紀問題に觸れるやうな行動があると云ふ噂がある京城中學校の成能教諭は是に就て語つて曰『仁川其他から列車で通學する學生は多々ありますが是は寄宿舍の關係で寄宿舍に收容が出來ぬそこで市内の下宿屋に置くより父兄の監督下に置く方が安全であるから止むを得ず列車通學を許してるます然し多數の事ですから學生中にも監督を命じてあるし又澤山の學生が各自に自重もするから不都合はないと思ふが然し之に對しては校長以下各職員が絕えず周密な注意を拂つて居ます』

高等女學校の高本校長は語る『府外からの學生は澤山ありますが現在列車通學をしてゐるものは十二名あります居住地は開城、汶山、仁川、永登浦の[illegible]なきです列車通學が學生の爲めに不可である事は明瞭ですが京城に此等の子弟を收容する寄宿舍が無いから困つて居ます現在は職員中の有志が四五の生徒を收容してゐますが之も限りがありますので此際何とかして官公立の中學校同樣に府立の當校にも寄宿舍を設けて貰ひたいと切望してゐるのです學生の風紀問題が喧しいやうであるが當校の生徒は一般に風紀が良好であると考へてゐるただ自分の不德から二三問題は起つたが自分の前任などに比して一般は決して劣つてゐない寧ろ優つてゐる位であるが列車通學の學生が勉學の爲に幾多の支障を起し易いのは事實なので充分注意はしてゐます』

更に女子技藝學校の井上校長は『生徒の風紀振肅と云ふ事は絕えず學務當局からも云はれる、し自分としても亦念頭を離した事はない何しろ口善惡ない女子學生を收容してゐるのでチヨツとした冗談から飛んだ噂が生れる事があるものですが當校では何等別段憂慮すべき點はありませんし將來とも此事は自分等教職員一同の標語として充分注意する考であります』と語つた

○鮮人自殺を遂ぐ　十六日午後六時頃元山發南大門驛行列車は[illegible]議政府間を進行中十八歲位の鮮人男一名突然線路内に飛び込み自殺を遂げたり

○納涼撞球大會　京城俱樂部にては十九日土曜日正午より南米倉町本部に於て臨時納涼撞球大會を催す由にて既に多數の出技申込あり市内五ケ所に有する各支部に於ては目下盛に練習しつゝあれば當日は熱烈なる爭戰を見るべしと

○觀世流仕舞會　京城觀世流仕舞會は來る十九日（土曜）午後五時から南米倉町京城俱樂部で仕舞會を催す由會費は金五十錢にて會員は自由なりと

運動界
雨中の野球戰
力士軍對全奉天

十四日の奉天オールチーム對角力野球團との決戰は既電の如く奉天軍をして善戰よく力めたが角力團も善戰よく力めた▲仕合は力士軍の先攻にて極めて平凡に始まつて平凡に終つた。殊に角力團の打擊に恐怖して居た奉天軍もイザ戰爭となつて見ると評判程ではなく戰士も一般も一寸豫期に反したのである▲第二回の表に於て一擧二點を得て一寸氣を吐いたが爾來成すなく遂に奉天軍の爲めに名をなさしめた力士軍は一體に油が乘らなかつた樣に見受けられた▲一つは奉天軍の投手の策戰が大いに圖に當つた爲めに打擊を封じられた樣にも見受けられたが矢張り愛嬌たつぷりの處は何處までも力士軍であつた序にメンバーを示せば

	奉天軍	力士軍
投手	山本	[illegible]
捕手	松田	[illegible]
一壘	川江	[illegible]
二壘	早水	[illegible]
三壘	田口	[illegible]
遊擊	大橋	[illegible]
左翼	安藤	[illegible]
中堅	吉田	[illegible]
右翼	伊藤	[illegible]
得點	十七	2

最大不幸
生殖障礙から來る
―男女の回春的新藥―
アフロンの卓効

人世何が不愉快だと云つて、生殖器能に障礙のある程の不幸は、恐らくあるまい、現代の如く複雜せる社會に對する、生活が漸次苦痛を增加する丈けに◆其の慰安を求むる事も當然で◆國際活動と慰安の調節が、完全に出來てこそ、其處に生活の意義が見出さるゝ譯である、然し不愉快極まるものは『陰萎病』から來る生殖不能で、家庭的に於てもこれ程の不幸はあるまい、それで病氣の原因場所の關係からして、正式に醫師の診察を受けるよりも、賣藥に依る事が多いのも、人情の然らしむる所で、從つて患者は◆只無暗矢鱈に無名の賣藥を服用◆して秘密裡に治療せんとする傾きがある、そこで製藥者も此弱點に乘じ、誇大廣告に依り患者を欺く如何はしい賣藥が多いが、要するに實效あり信用ある藥劑を選擇するが一番安全の策である、此意味に於て賣藥革新の急先鋒たる日本橋室町の泰昌製藥株式會社から最近發賣されたる陰萎新藥◆アフロンは理想的の◆效力あるもので、老衰性、精神的、神經衰弱から來る陰萎は勿論、其他房事過度、手淫、糖尿病、淋病に原因する場合又は射精早漏等には殆ど萬能と云つても好い位顯著なる効力がある、而已ならずアフロンは一面健胃滋養强壯劑なれば斯種の藥の缺點は遺憾なく除却せるもので、眞に家庭和樂と人生の幸福を望むものには無上の良藥（一函、二圓）である。

小男も大男となる
●伸長器の發明　●器械無料貸與
男女共背が低いと一生の間何の損か分らないが最近特許局の登録を受けた身長器は全身の骨と骨との間の軟骨を伸長せしめ驚ろく程背が高くなる
大發賣
伸びる器械を公益普及の爲め希望者へ無料で貸與す輕便秘密に出來るハガキで詳細を通知す
東京京橋區入船町　伸長器普及所

賛化病院
京城府明治町一丁目　電話二四二番
内科　小兒科　入院隨意
毎日五名を限り施療す
醫學博士　古城憲治
金澤醫學士　打田義芳

株式會社第一銀行京城支店
資本金　貳千貳百七拾萬圓
積立金　壹千四百六拾萬圓
總預金　參億三千萬圓
頭取　佐々木勇之助
支配人　竹村利三郎
京城本町一丁目　電話一一六一・一一七一番

大木耳鼻藥
おほきみみはなぐすり
キキメは評判以上
處方優秀　配劑適切　用法簡便
小瓶　大瓶
各地藥店にて取次ぎ販賣す
東京、大阪、京城　大木合名會社

コルタール
京城電氣會社特約販賣
龍山漢江通り八　電話四九番
金物商　島田忠作商店

大正館
●東京市休戰祝賀會の實況
舊劇の花　日本銀次　全四卷
日活會社規撮影　尾上松之助中扇太郎大合同劇
よ組の親分に從はれた銀次わ年に似合はぬ鐵火な氣性に本銀次の名を賜わり關東の大俠客國定忠次と渡り引をなし大江戸兒の木分み
第五回　七眞珠　全三十一卷の内　第九、十篇四卷
米國西部の大山谷を背景として花の如きイルマ孃は一條の綱に縋る命懸けの大冒險は血沸き肉躍り世界的大寫眞として雄偉壯重の大撮影を縱にし得るは最近文明の恩惠なり
危機一髮　劇の一大中心は益大佳境に入る
米國パテー會社傑作連續大冒險劇
十八日より　入場料普通

工賃値上廣告
一常傭　壹日に付　金參圓也
今般右の通り改正値上致し十八日より實行致候
京龍鋸力業組合

水泳術
入會せる者に水泳の極意を[illegible]

第二回株金拂込公告
一拂込金額　壹株ニ付　金[illegible]圓也
一拂込期間　大正八年自七月十九日至七月廿三日
一拂込場所　當行本、支店
株式會社朝鮮銀行（東京、大阪、下關各支店、神戶出張所）
株式會社第一銀行（横濱、名古屋、京都各支店）
右拂込相成度公告候也
大正八年七月一日
株式會社朝鮮殖產銀行

連絡船上陸客　十六日朝入港連絡船一二等客
金井信治、佐岡高義、河野宇吉[illegible]長崎、米地酒造[illegible]三百五十名

海軍案決定
本月末豫算廻付

みだれ咲き

第九十一回　島山碧波作　森田久畫

龍雄の手首をグッと押へた驛員は、構内監視の巡査を大きな聲で呼んだ。

『君ッ、そんな眞似をせんでも逃げも離れもせんよ』

『何ですか』

龍雄がムッとして驛員に答へて居る時、其處へツカ〳〵とやつて來た巡査は龍雄の身の廻りをヂッと見廻した。

『どうやら無札で乘つて來て華族の子弟だなぞと云つて巧に胡魔化さうとするのです』

『フーム……』

巡査は再び鋭き一瞥を龍雄に浴びせ。

『おい此方へ來なさい』

龍雄は忽ち驛長室へ引かれて行つた

『貴郎は實際華族の子弟なんですか』

何處と無く氣高き少年で、あるから巡査も普通の無札で乘つて來た不良少年を取調べるやうなことはしない。

『さうです』

彼れは助役の立會で調べられる巡査に向ひ、身分族籍と姓名は勿論、生年月日まで殘らず告げた。

『あ、左樣ですか』

助役は驛に備へ付けの華族名鑑を繰り返し、巡査に示した。

『あ、左樣でございますか、さうしてごんな御用で旅行をなさいました』

『多分新聞へも掲載されて居りませうが、父が朝鮮で病氣に罹つたので其見舞に行くのです』

龍雄が滔々と答へると、驛の助役は大きく首肯き。

『さう〳〵、山中子爵が京城で發病されて大和病院に入院されたと云ふことは漢城時報と鷄林日日新聞に出て居ましたな』

『あ、左樣でございますか、さうして父の容態はごう云ふ風に書いてありました』

流石は親子の間柄である、其後父の消息を知らぬ龍雄は、驛員を通じて最近の父の消息を知らうとした。

『既に輕快で見ますと、近く御退院のやうでした』

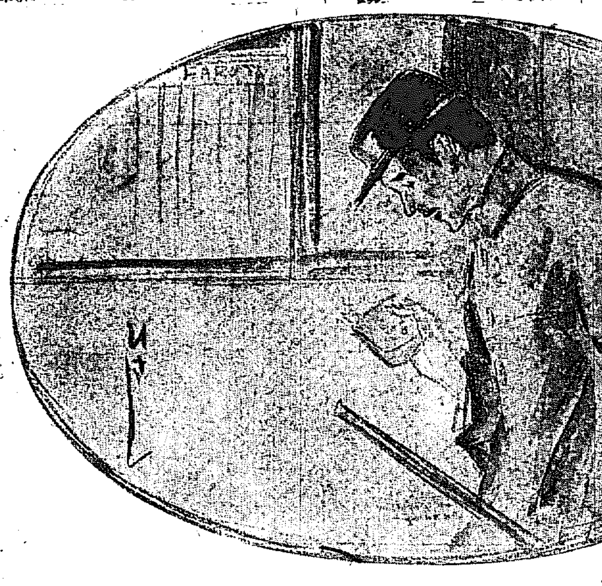
此の時巡査は肝腎の取調が脇へ外れるのを制し。

『時に貴郎は列車中で所持の蟇口を切符と一緒に掏られたさうですが現金は餘程入つて居りましたか』

『左樣です百圓の内から京城までの切符を買つた丈ですから七十圓餘り入つて居りました』

『さうして蟇口はごんなのですか、一寸夫を仰しやつて下さい』

巡査は鹿爪らしく手帳を取出して龍雄の云ふのを記し始めた。



『何にしても途中から一緒になられた婦人と云ふのが怪しいですな』

『然も其の婦人は姉の友人で同族の河合子爵の令嬢で蓮子さんと云ふ僕の姉とも懇意にして居る婦人なんです』

助役はまたしても華族名鑑を繰つて居たが。

『成程河合蓮子と云ふ令嬢はありますな』

『然し切符が無い以上は幾ら御身分が華族であらうとも甚だ困るのですが、ごうされます、お邸から電報か何かで金をお取寄せになりますか、さうすれば御身分を信じて一時當驛から出して上げるやうに致します』

と、助役が氣の毒さうに告げた時、列車内の掃除夫は、一個の蟇口を持つて其處へ入つて來た。

『助役さん、遺留品だが、中に京城までの通し切符が入つて居る』

『おゝ夫が僕のです、多分認印が入つて居ませう』

助役は直ちに鰐皮の蟇口を調べて見た、不幸にして現金は一錢も入つて居ぬが、品川から京城までの切符と山中と彫つた象牙の認印が入つて居た。

鷄卵の鑑別法

（一）目方の重いものほごよろしい（二）新鮮なるものは卵のにほひなし（三）卵殻の厚きものほご新鮮である（四）一〇パーセントの食鹽水中に入れて沈むものは良ろしい、但し浮く程度により生後の日數を知ることは出來ぬ何故なれば卵殻に輕重の差があるためです（五）透かして見て半

京城名物の（京城南大門通三）カフエータイガーのアイスクリーム

透明に卵白を見ることの出來るものは良ろしい（六）兩端を舌又は唇にふるゝに鈍端温かく尖端冷やかなるは新鮮である（七）卵殻は馬糞に汚染せられぬ樣に注意することが大切です、汚物が附着すれば腐敗し易いためです、然し故意に洗滌した形跡を有するものは絕對に排斥しなければなりません何となれば水洗のために外部の防腐組織が除去されて腐敗が早くなるのであります

我等の俳句

浮碧楼

○夏の月が叢雲を渡る家々ねしづまつた
岐阜提燈が明るいお前の襟足色
綱叩きの柄の長さ答へし

○わが盆大自の山窪に遂く住みよ。
お盆の十五日わが梗も我心地する
お盆入日の川水にしたがひ路曲り少し　芥郎

○十藥の孔雀草を取巻いて暗い鐵柵が近い
日の入際に朝鮮酒をあほつて君等は動かない
水を啜つて京城の眞晝の空を遮るもののなき　山郎

○鷄頭栗の盛りなりしこゝを知らぬ
桔梗白きのみの盂十四日の甍
朝の夏草を踏む心弛みなし
―八、七、一五、五の日十の日會―　鳥堂

正誤

雜林の夏の月二階に荒々しくなつた　浮碧楼

○晩の蚊帳を出つ蚊帳の裾落とす　芹郎

製絲工女は炎天の樹に觸れてのさゝやき　山與水

さみしい月の出よ兄弟麥刈車をさめた　不老郎

日報俳壇

■青邱吟社詠草（京城）

○窓に峙つ雨後の御山や夏の夕　毬燕
夏霧の蜂離れゆく旅籠かな
藍干せる海道筋や雲の峯
風そよ〳〵とポプラに鳴るや夕涼し
雲低く垂れて草葉に群るゝ蠅
六月のポプラに映ゆる夕陽哉
庭の草を浸す出水や飛ぶ螢
短夜をこめて小蜘蛛の營めり

○立札と見ねて仄めく茂りかな　峰村
泳ぎ子の膝を並べて砂上かな
大渦のこゝに及ばず船牛洲
朝靄る庭木の蜘蛛を掃ひたり
睡蓮の葉每に曉の微風かな
なか〳〵に出る渡舟や日の盛り
日盛りや汐に消ね去る舟の跡
遲しき數の石工や日の盛り

○榾脚を打つ小波や夏の月　孤舟
海を抱く學校の庭や風薰る
強行軍の兵を犒ふ麥湯かな
炎天や山の底なる五戸の村
夜をこめて營む兒等や檻取虫

○雷遠く去りしじまや蟬の聲　考古
連翹の垣摘むおこや風涼し
遞か雨過ぎて夕日や茄子の花

○紫陽花や垣のうちなる七面鳥　飛骨
旋風器ありて涼しき事務所哉
鷗の睡れゆく島柴や夏の海

日報歌壇

稚き頃に

○世の常の若き女のならはしを踏むなさちこや人は思へる　寂　ゆか（旅順）
いさけなき頃に夢見し行末のわが世何處に影かくしけむ
惜しまれし若き命に惜しからぬわが此の命代らむ願ひ
世に強き悲しみを知る人々の誰そとは無く僕かしきかな
溢れ來る涙見せじと心なき笑ひに轉げ面隠すも

○病癒えてものを欲りする此頃たみにくき我と思ふ日のあり　江口　さり（大連）
梳けば櫛にまつはる一掴の脱毛を見入り涙する我
悲しきも腹立たしさもかみしめてあれば涙のはら〳〵と落つ
何となく淋しき雜木林をばめぐり出づれば街の火明し
我が歌のおさろへそめてうつろなり心いさしも春の日の前

○やわらかき眞砂の上を嵈少女素足あらはに貝拾ひすも　滋　畔　生（京城）

○さすらひの旅は悲しも我れ一人たたよるべきもの無しと思へば　草野　春二（京城）

○なつかしき灯のまたゝきを見つゝ夜汽車の窓に凭るかな　さ　ゆ　り　女（京城）
ひた走る夜汽車の窓に故里の町の灯のまたゝくを見ぬ
騷がしき人の話も靜まりて夜汽車の窓に更けし月見る

○降りの銳き雨に打たれつ葉の上の胡瓜の花は哀れなるかも　日野　豊果（京城）
三味線草伸びのわりなし塀下のこの空地はも蛩を虫鳴く
七月の眞日のそゝぎに狹庭への胡瓜は傷き葉を支へ居りか　み（京城）

地より天に百萬條の白糸をかけたる如き雨土を打つ
あか〳〵と雨夜の空に照りはゆる此の大いなる市の灯火

寄稿注意

詠草は明瞭に認め必らず住所氏名を明記されたき事▲歌には制限を設けざるも一枚の詠草に五首以上を認めざる事右堅く守られたし

新刊紹介

▼亞細亞時論（七月號）劉支借款團に關する意見（國民外交同盟會）詛呪すべき大戰の總結（非新人）日本の脅威（施子木員信）露國の現在と將來（夏秋龜一）過激派の搭鉢と借金（北西南東）祖先崇拜の大義（大久保初男）戰後東亞の經濟戰（羽場從二）等（廿錢、東京市赤阪區溜池町一二黑龍會出版部）

▼現代の科學（第六號）大學出身者に機會的等を與へよ（一戸博士）足尾銅山の地質鑛床に就て（渡邊理學士）宮戸島及糶澤今塚の土器（松本博士）日本刀の研究（俵博士）コバルニスカ（一戸博士）等（四十錢、東京府豐多摩郡代々幡村字幡ヶ谷八七五現代之科學社）

▼浦潮以北の西伯利諸港　表題の如き諸港の地誌、經濟狀況、港灣としての價値等を調査せるもの（朝鮮銀行調査局）

讀者の領分

▲過日來日蓮研究會、主意書に日蓮上人遺文の『主君でかし』に付て『一赤子』氏の質問に對するお二人の答辯は甚だ小生不徹底のものだと思ふ彼以上の簡單明瞭の答解は無いだらうか其位の意味で堂々主意書に印刷したのであらうか普通たい、らさか主師親を備へたいものと說くさかでは實に空虛薄弱だ夫れなら何に日蓮上人のみには限らぬ事になる果して『限らぬ』であらうか今少し徹底した說明を承り度いそして都合中止度い事もある（批判者の一人）▲つつさりと閉ち込めた桃色の空氣にしみ〴〵と懷しみの込みあげる涼しく淺い宵なんです、ハラ〳〵と紅がらが散ると思はれる外は白百合やリヤの花の香がによろりと登つた卯月に香つてゐます、何處からか搏い空氣をふるはして助と銀笛の音が流れて參りました、さゝ川のさゝなさはたへず金鈴の樣に聞へて參ります、なんと言ふなまめかしい晩なんでせう、あれ〳〵星が〳〵涙の樣に碎けました（花岡橋畔銀流の畔なる　いつゝ鄰華生）▲○○國長君僕帝劫あり京城局留信川本義夫宛葬式の通知受取るに（山本秀三）▲葬式の通知に笑ひさゞめく人は親の喪に丁つても日々大聲で笑ひこけて居る、愛なる人に隠す虛飾としても劇引の出來ぬ不德行為である、眞面目な人性こんな人物に何と挨拶してよいか惑さかにお目出度とも云へまい（無學生）▲私は色があまり黑くて困つて居る一人なのです願くば讀者諸兄姉よ色の白くなる方法を此の欄にて御知らせ下されば幸福と存じます（光子）▲一般の商店員は一日十五日は休日として一日は大部分外出して遊ぶのへば其の日は我等雜貨店員はタッタ十五日の一日すら滿足に休養が出來ぬ終日家の中にボンヤリして居て何の爲になるか僅か一日の事である、命が縮まるではないか店主殿の反省を望みます（古市町一雜貨小僧）▲南大門通りの撒水夫さんに御願ひを致します此の頃の樣に斯うホコリ多くてはやりきれませんから早く撒水をして下さい恐らく撒水を希望して居らぬ人はありますまい貴料の樣に天氣の良い日には撒水せず雨や曇の日ばかりに撒水してゐますが後生ですから天氣の良い日にも撒水して下さる樣一同に變つて御願ひ致します（南大門通り困却生）

李王職用御　模範牛乳　ニウソ　石鹸洗粉
場主　肥塚正太　京城蓬萊町四丁目　東亞牧場　電話五二番

京日案內
普通一回前金七十錢　番外一回前金壹圓（二十錢增）（限名指四回）
▲申込後中途掲載中止は料金不返戻
▲六回以上の申込は特に割引の事
▲照會は返信附に非ざれば回答せず

番外　乳母至急入用　京城南大門通五丁目六三　電話一七六四　早川商會

吸入瓦斯エンジン　十馬力乃至二十馬力右至急買入たし　平壤本町　岩田商店

女子從業員（三十歲迄）及男子給仕ヲ募集ス　龍山　總督府印刷所

募集　店員廿歲以上　二名　手代五拾歲以上　五名　但シ商業ノ心得アルモノ　京城本町二丁目一六　京城青葉町二丁目三〇　大橋商店

店員及見習募集　內地人　確實なる保證人　京城本町　釘本藤次郎本店

大阪市三休橋　有田ドラッグ　百圓進呈
りん病　ばい毒
◎淋病藥王梅毒藥王は治療劑として梅毒驅梅內服藥として醫學上最有效と確定し歐米醫科大學病院に於て賞揚せし證明書あり若し前述の證言に違ふ事を證見せる時は分析料百圓進呈
◎あらゆる治療を試むも効なき患者は一度來談あれ
大阪有田　にせ物あり　取要を買ふ
京城南大門外停車場通　有田ドラッグ滿鮮本部
京城黃金町三丁目電車通　有田ドラッグ（電話二八三番）
龍山練兵場前　釜山大廳町二丁目　元山本町三丁目　平壤櫻町十二番地　仁川宮町二丁目　大連岩代町　有田ドラッグ支店
◎朝鮮のにせ物　京城、龍山、仁川等各地ににせドラッグあり御着せらるゝ樣御注意を乞ふ
諸賣（全國の都市に支店あり）藥店販賣不許
東京日本橋通四　大阪心齋橋筋　有田ドラッグ

銑鐵　鋼材

▲鑄物用特一號銑	白線二本
▲同一號銑	白線
▲同二號銑	青線
▲同三號銑	赤線
▲製鋼用鹽基性平爐銑	線
▲荒	叺入

等級區分ペンキ塗色別

三菱製鐵株式會社　兼二浦製鐵所

▲種類　鋼鈑、山型鋼及バルブ山型鋼　但し造船、汽罐、橋梁、建築用各種
▲寸法　鋼鈑　厚十六分三吋以上一吋　巾三呎以上八呎長サ三十二呎迄
山型鋼　三吋×三吋、三吋半×三吋半四吋×四吋、五吋×五吋長六十呎迄
バルブ山型鋼　八吋×三吋半、九吋×三吋半長サ六十呎迄
▲規格　遞信省造船規格、帝國鐵道院規格、英國ロイド協會規格及一般無規格

副產物　中塊骸炭、小塊骸炭、微粉骸炭、硫酸安母尼亞、工業用硫酸、ピッチ、ナフタリン、輕油、中油、重油、耐火煉瓦、鑛滓煉瓦

謹告　品質吟味値段勉強御高需に應し可申候間多少に拘はらず御註文願上候　尚銑鐵品位鋼材寸法表御請求被下候はゞ直に御送付可申上候

TAKA-DIASTASE
高峰博士發見　タカヂアスターゼ
本品は本邦人に最多數を占むる澱粉不消化に因する胃腸障害に必要缺くべからざる新藥として多數の醫學者臨床家に依り確認賞用せられつゝあり。
本劑は從來米國にて製造したるものを輸入せしも前年より本會社品川工場にて製造し純國產品となれり。類似模造品は時日經過と共に效力減却するを普通とす、我タカヂアスターゼは效力永久不變なり。
內外醫學者の實驗報告書無代贈呈す。
東京室町　三共株式會社

之丈は是非必要なる常備救急藥　安川コロダイン
効能　いつう○ふくつう○しよくあたり　はき下し○きつけ○どくけし
定價　三十錢　五十錢
全國各地藥店に有り　東京日本橋上槇町　藥劑師　安川榮次郎